

令和5年8月1日（火）  
第5回定例教育委員会 別冊資料

**令和5年度**

**教育委員会事務の点検評価報告書  
（案）**

（令和4年度事業）

**令和5年9月**

**南砺市教育委員会**

## 目 次

I	令和5年度 点検及び評価実施方針	1
II	令和4年度 教育委員会活動状況	2
III	令和4年度 教育委員会審議決定事項	4
IV	教育委員会 組織・機構図	7
V	教育委員会の業務	8
VI	令和4年度 南砺市教育委員会重点施策	10
VII	令和4年度 教育委員会施策体系と評価	16
VIII	学識経験者の意見について	—

# I 令和5年度 点検及び評価実施方針

## 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、南砺市教育委員会は、市民への説明責任を果たすため、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、課題や取組みの方向性の確認をすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

## 2 点検・評価の対象

令和4年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況

## 3 点検評価の方法

### (1) 自己点検評価

第2次南砺市総合計画及び第2次南砺市教育振興基本計画を踏まえた「令和4年度南砺市教育委員会重点施策」に基づき、教育委員会の活動状況及び事務事業の執行状況について点検・評価を行う。

### (2) 学識経験者の知見の活用

下記の学識経験者から教育委員会の自己点検評価結果に対する意見を聴き、報告書に記載する。

点検評価委員（令和5年度委嘱、任期3年）

職名	氏名	主な経歴等
委員	武部 かずえ	人権擁護委員
委員	齊藤 晴之	井波美術協会 会長
委員	大西 正起	南砺市PTA連絡協議会 会長

点検評価委員（令和3年度委嘱、任期3年）

職名	氏名	主な経歴等
委員	宇野 雪江	南砺市主任児童委員 代表

※経歴は委嘱当時

### (3) 議会への報告及び公表

点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、南砺市ホームページへの掲載、情報公開窓口への備え付け等により公表する。

## II 令和4年度 教育委員会活動状況

### 1. 教育長、委員選任状況

(令和5年3月31日現在)

職	氏名	性別	主な経歴	任期	教育長、委員通算 在任年数	役職任期	常勤 非常勤 の別	保護 者
教育長	松本 謙一	男	元富山大学教授 前金沢大学教授	R 3.12. 7~ R 6.12. 6	4年 (2期)		常 勤	
務代理者 教育長職	竹部 俊恵	男	元小・中学校長 前幼稚園長	H30.12. 7~ R 4.12. 6	4年 (1期)	R3.12.22~ R4.12. 6	非常勤	
務代理者 教育長職	高坂 真理	女	音楽講師 主任児童委員	R 1.12.22~ R 5.12.21	3年3月 (1期)	R4.12. 7~	非常勤	○
委員	林 紀孝	男	県PTA連合会参与 元市PTA連絡協議会長 元県PTA連合会副会長	R 2.12.24~ R 6.12.23	6年3月 (2期)		非常勤	○
委員	中川日登美	女	元小・中学校長	R 3.12.22~ R 7.12.21	1年3月 (1期)		非常勤	
委員	藤原 洋	男	元中学校長 元国立登山研究所所長	R 4.12.7~ R 8.12.6	3月 (1期)		非常勤	

\* 教育委員の任期は4年間、教育長の任期は3年間

### 2. 委員構成 (R5.3.31 現在)

年齢：70歳代 1人、60歳代 2人、50歳代 1人、40歳代 1人

### 3. 教育委員会の開催状況

#### (1) 会議開催数

定例会	9回
臨時会	1回

#### (2) 付議案件数

協議事項	42件
報告事項	53件
計	95件

(3) 委員の出席率：100%

(4) 会議の公開：原則公開

#### 4. その他の主な活動状況

会議・行事	回数・月日	場 所	出席状況
総合教育会議	R4. 8. 29 R5. 2. 13	南砺市	教育長 出席委員 4 人
学校訪問研修	15 回	小学校 7 校 中学校 7 校 義務教育学校 1 校	教育長 参加委員 4 人
保育園等施設訪問	13 回	保育園 11 園 幼稚園 2 園	参加委員 4 人
先進地視察研修	R4. 10. 27 R4. 10. 28	愛知県 岐阜県	教育長 参加委員 4 人
市議会出席	本会議 9 回	市議会議場	教育長
県市町村教育委員会連合会 定期総会及び研修会	R4. 7. 13	富山市	教育長 出席委員 1 人
砺波地区地方教育委員会連絡協議会 定期総会及び視察研修	R4. 6. 27	小矢部市	教育長 出席委員 4 人
同 教育委員等研修	R4. 11. 29	小矢部市	教育長 出席委員 2 人
西部地区地方教育委員会連絡会 総会・講演会	R4. 7. 7	高岡市	教育長 出席委員 2 人

### Ⅲ 令和4年度 教育委員会審議決定事項

#### 1. 定例会

回（開催日）	審議決定事項
第1回 (R4. 4. 12)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度南砺市教育委員会重点施策（案）について</li> <li>(2) 教育長の服務に関する承認事項について</li> <li>(3) 南砺市とやまっ子子育て支援サービス普及促進事業実施要綱の一部改正について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 市職員の人事異動について</li> <li>(2) 令和4年度4月補正予算の概要について</li> <li>(3) 令和4年度学校訪問研修について</li> <li>(4) 南砺市立中学校部活動のあり方に関する提言について</li> <li>(5) 「コドモン」導入効果検証結果について</li> <li>(6) 南砺市民藝調査報告書「民藝の心が生きるまち・南砺」について</li> <li>(7) 令和4年度南砺市教育センター研修事業計画について</li> </ul>
第2回 (R4. 5. 20)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 南砺市奨学資金支援助成金交付要綱制定について</li> <li>(2) 南砺市立学校のあり方検討委員会設置要綱の一部改正について</li> <li>(3) 南砺市学校職員服務規程の一部改正について</li> <li>(4) 南砺市児童生徒家庭通信環境整備補助金交付要綱の一部改正について</li> <li>(5) 南砺市SDGs未来都市市民会議の委員推薦について</li> <li>(6) 令和4年度令和の教育改革スケジュールについて</li> <li>(7) 令和4年度6月補正予算の概要について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和3年度3月会議、令和4年度4月会議一般質問等の要旨について</li> <li>(2) 令和4年度5月補正予算の概要について</li> <li>(3) 南砺市立中・義務教育学校修学旅行日程について</li> <li>(4) 令和4年度南砺市奨学金の貸与について</li> <li>(5) 南砺市民大学講座等の状況について</li> <li>(6) 令和4年度放課後子ども教室・土曜学習推進事業について</li> <li>(7) 南砺市子どもの権利条例づくり事業の進捗状況について</li> <li>(8) スクールソーシャルワーカー等の小・中、義務教育学校訪問について</li> <li>(9) 令和3年度南砺市図書館の利用状況について</li> </ul>
第3回 (R4. 7. 8)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育長の服務に関する承認事項について</li> <li>(2) 富山県市町村教育委員会連合会理事の選出について</li> <li>(3) 特認校制度の導入について</li> <li>(4) 南砺市就学指定学校の変更取扱要綱の一部改正について</li> <li>(5) 南砺市特認校就学実施要綱の制定について</li> <li>(6) 南砺市通学費補助金交付要綱の全部改正について</li> <li>(7) 南砺市大学生等就学支援金交付要綱の制定について</li> <li>(8) 南砺市高等職業訓練促進給付金等事業実施要綱の一部改正について</li> <li>(9) 南砺市自立支援教育訓練給付金事業実施要綱の一部改正について</li> <li>(10) 令和4年度7月補正予算の概要について</li> <li>(11) 令和5年南砺市成人式</li> </ul>

	<p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ふるさと教育推進事業について</li> <li>(2) 令和4年度砺波地区中学校総合選手権大会の結果について</li> <li>(3) 南砺市立中・義務教育学校修学旅行日程について</li> <li>(4) 公共施設再編計画について</li> <li>(5) 夏季教職員研修実施要項について</li> <li>(6) 南砺市子ども読書活動推進計画（第3次）の進捗状況について</li> </ul>
第4回 (R4.8.9)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度南砺市教育委員会事務の点検・評価報告書(案)について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度6・7月会議の要旨について</li> <li>(2) 令和4年度9月補正予算要求について</li> <li>(3) 中学生学習支援推進事業の申込み結果について</li> <li>(4) 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ2023開催について</li> <li>(5) 不登校児童生徒の出席扱いなどの判断について</li> <li>(6) 南砺市教育講演会代替え研修について</li> </ul>
第5回 (R4.9.20)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度南砺市教育委員会事務の点検・評価報告書(案)について</li> <li>(2) 教育長の服務に関する承認事項について</li> <li>(3) 利賀地域義務教育学校設置協議会設置要綱の制定について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 南砺市教育委員会事務局組織規則の一部改正について</li> <li>(2) 南砺市子ども・子育て会議条例の一部改正について</li> <li>(3) 南砺市小中学校児童生徒の各種大会参加補助金交付要綱の一部改正について</li> <li>(4) 利賀地域義務教育学校設置協議会の設置について</li> <li>(5) 令和5年南砺市二十歳の集いについて</li> <li>(6) 令和4年度市民大学講座（後期）について</li> <li>(7) 子ども・妊婦に対する初診に係る選定療養費の助成について</li> <li>(8) 令和4年度南砺市教育センター主催・協業・準協業「夏季研修会」実績報告について</li> <li>(9) 常陸宮賜杯第73回中部日本スキー大会実行委員会の設立について</li> </ul>
第6回 (R4.11.17)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 南砺市こどもの権利条例の制定について</li> <li>(2) 令和4年度12月補正予算要求について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度10月補正予算の概要について</li> <li>(2) 令和4年度9月会議の要旨について</li> <li>(3) 第1回南砺市立学校のあり方検討委員会について</li> <li>(4) 常陸宮賜杯第73回中部日本スキー大会について</li> <li>(5) 市立図書館ホームページのリニューアルについて</li> </ul>
第7回 (R4.12.15)	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 南砺市通学費補助金等交付要綱の一部改正について</li> <li>(2) 令和4年度南砺市教育委員会表彰候補者について</li> <li>(3) 令和5年度当初予算要求（案）の概要について</li> <li>(4) 南砺市文化財保存活用地域計画骨子概要について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和4年度12月補正予算追加要求の概要について</li> <li>(2) 中学生学習支援事業・子供体験活動について</li> </ul>

第8回 (R5.2.9)	協議事項 (1) 南砺市教育委員会が保有する個人情報の保護に関する規則の廃止について (2) 令和4年度南砺市教育委員会表彰候補者の追加について (3) 南砺市立中学校部活動の拠点校化・地域移行について (4) 南砺市こども医療費助成に関する条例の一部改正について (5) 南砺市入学・卒業祝い金等上乘せ支給事業実施要綱の制定について (6) 南砺市立図書館の機能について (7) 令和4年度3月補正予算要求概要について
	報告事項 (1) 令和4年度12月会議一般質問の要旨について (2) 令和4年度1月補正予算要求概要について (3) 令和5年度組織機構改革について (4) 令和5年南砺市二十歳の集いの出席状況について (5) 南砺市こどもの権利条例について (6) 令和4年度「なんと！やさしい子育て応援企業認定制度」認定及表彰企業について
第9回 (R5.3.14)	協議事項 (1) 令和5年度南砺市教育委員会重点施策（案）について (2) 南砺市教育委員会規則及び告示の全部改正、一部改正及び廃止について
	報告事項 (1) 令和4年度1月会議の要旨について (2) 令和5年度南砺市研修計画について (3) 南砺市型学校司書モデル事業について

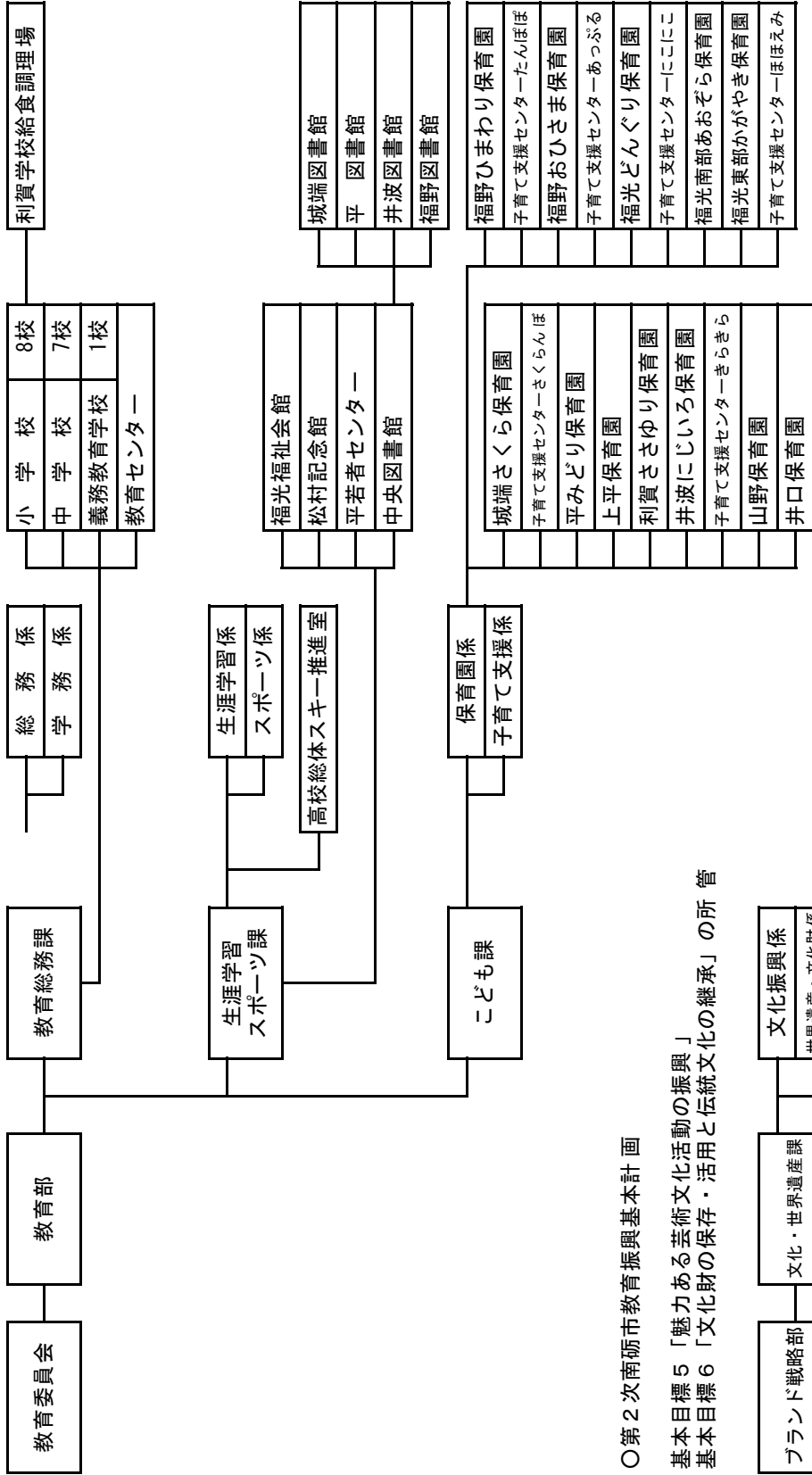
## 2. 臨時会

回（開催日）	審議決定事項
第1回 (R4.12.8)	協議事項 1 南砺市教育委員の任命について 2 南砺市教育委員会教育長職務代理者の指名について



## IV 教育委員会 組織・機構図

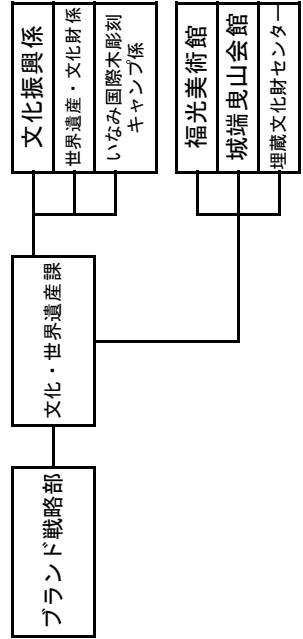
令和4年4月1日現在



### ○第2次南砺市教育振興基本計画

基本目標5「魅力ある芸術文化活動の振興」

基本目標6「文化財の保存・活用と伝統文化の継承」の所管



## V 教育委員会の業務

令和4年4月1日現在

教育委員会
教育長
教育部長

課 電話番号	係	所管業務
教育総務課 23-2012	総務係	<ul style="list-style-type: none"> <li>■教育委員会・総合教育会議</li> <li>■教育重点施策の企画立案及び総合調整</li> <li>■学校その他教育機関の設置及び廃止</li> <li>■就学援助</li> <li>■教育行政に関する相談、要望及び陳情</li> <li>■市奨学資金</li> <li>■教育に関する調査及び統計</li> <li>■各種大会参加補助金</li> <li>■ふるさと教育推進事業</li> <li>■ALT外国語指導助手事業</li> </ul>
	学務係	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校の施設・設備の整備、維持管理</li> <li>■児童生徒の就学、入学、転学及び退学事務</li> <li>■小中一貫教育</li> <li>■学校の指導、管理及び運営</li> <li>■学校の保健、環境衛生及び学校給食</li> <li>■教育センター関係</li> <li>■幼保小連携事務</li> <li>■ICT教育</li> <li>■学校の教育方針及び教育課程</li> <li>■教育支援委員会</li> <li>■いじめ防止対策</li> <li>■山村留学定住事業</li> <li>■スクールバス運行</li> </ul>
生涯学習 スポーツ課 23-2013	生涯学習係	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生涯学習の振興に係る事業の企画立案及び総合調整</li> <li>■家庭教育、女性及び成人教育</li> <li>■青少年教育及び青少年健全育成</li> <li>■社会教育委員及び社会教育関係団体</li> <li>■生涯学習活動</li> <li>■成人式実施事業</li> <li>■地域づくり協議会生涯学習部局及び図書館等、その他社会教育機関との連絡調整</li> <li>■文化施設の管理、改修及び廃止</li> <li>■図書館施設の管理</li> </ul>
	スポーツ係	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生涯スポーツ、競技スポーツの普及及び振興</li> <li>■スポーツ振興審議会及びスポーツ推進委員</li> <li>■社会体育団体の育成及び支援</li> <li>■総合型地域スポーツクラブ支援</li> <li>■スポーツの指導及び助言</li> <li>■社会体育施設の管理、改修及び廃止</li> <li>■学校体育施設の開放</li> </ul>
高校総体スキー推進室		<ul style="list-style-type: none"> <li>■令和4年度第73回常陸宮賜杯中部日本スキー大会開催に向けた事務</li> <li>■令和5年度全国高等学校総合体育大会第73回全国高等学校スキー大会開催に向けた準備事務</li> </ul>

	<p>保育園係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 保育園の運営管理</li> <li>■ 保育料の決定及び徴収</li> <li>■ 保育指導及び特別保育事業</li> <li>■ 保育園審議会</li> <li>■ 保育園会計年度任用職員の採用及び募集</li> <li>■ 保育園職員の研修</li> <li>■ 私立保育園・認定こども園(幼稚園)に対する補助及び運営支援</li> <li>■ 子ども・子育て支援事業計画及び子ども・子育て会議</li> <li>■ 子育て支援センター事業関係</li> </ul>
<p>こども課 23-2010</p>	<p>子育て 支援係 (女性・こども 相談室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 児童福祉団体</li> <li>■ 母子、父子、及び寡婦福祉法に係る業務</li> <li>■ ひとり親家庭等医療及びこども・妊産婦医療費助成・養育医療給付</li> <li>■ 児童手当、児童扶養手当、及び特別児童扶養手当</li> <li>■ 出生祝い金</li> <li>■ 児童館(児童センター)の管理運営</li> <li>■ 放課後児童クラブの管理運営及び事業補助関係</li> <li>■ 児童虐待防止対策</li> <li>■ 子ども及び子育て相談並びに女性相談</li> <li>■ ファミリーサポートセンター</li> <li>■ 児童遊具設置等補助</li> <li>■ 発達障害児の支援</li> <li>■ 「とやまっ子」子育て応援券</li> <li>■ 子育て応援事業</li> <li>■ 子どもの貧困支援対策</li> <li>■ とやまっ子さんさん広場推進事業</li> <li>■ 臨時保育室</li> <li>■ 子どもの居場所づくり事業</li> <li>■ 子どもの権利に関すること</li> <li>■ なんとのお宝祝い事業</li> </ul>

# 南砺市教育委員会重点施策

## 基本理念（教育目標）

本市では、次のことを教育目標として掲げます。

## 未来を切り拓く南砺の人づくり

### 5年間の重点目標（令和2年度～6年度）

## 全ての人々が心豊かに暮らす教育環境の充実

### 基本目標

教育目標の実現のため、本市教育の目指すべき方向を踏まえて、次の5つを基本目標とします。

#### 1 豊かな人間性を育む学校教育の充実

児童生徒の「豊かな人間性」を育むために、徳・知・体の調和のとれた教育を推進します。基礎的・基本的な学力を確実に身に付けるよう努めるとともに、家庭・学校・地域が果たす役割を明確にし、共に支えあうとともに、子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばし、自他共に認め合うことができる教育を目指します。また、将来地元を支える活力につながる「ふるさと教育」を推進する中で、未来へ向けた人づくりを行います。

#### 2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進

市民が心豊かで生きがいのある人生を送れるよう、さまざまな講座・講演会を開催します。今後も、各種生涯学習講座の内容をさらに充実させ、市民の学習意欲や満足度を高めるとともに、学びの場をとおして子どもたちに対する家庭や地域の教育力の向上を図ります。また、社会教育施設の学習環境改善のため、今後も計画的に改修工事を実施します。

#### 3 健やかな心と体を育む生涯スポーツの推進

各ライフステージで市民の誰もがそれぞれのライフスタイル、興味・関心、適正等に応じてスポーツ活動に参画し、健康で生きがいのある生活が営まれるよう、子どものスポーツの機会や親しむことができる環境の充実、総合型地域スポーツクラブへの支援、全国や世界で活躍できる選手の育成、市民のスポーツ活動を支える人材の育成と活用に努めます。

#### 4 子どもが健やかに育つ環境の充実

地域の風土や自然などに愛着と誇りをもち、能力や可能性を伸ばす魅力ある幼児教育・

保育を実践します。

幼児教育・保育施設（保育園・認定こども園等）における提供量の確保及びサービスの充実とその質の向上を図ります。

児童館や放課後児童クラブをはじめとする児童の居場所づくりを推進し、児童の健全な育成及び共働き世帯の子育てと仕事の両立を支援します。

家庭や地域社会全体の子育て力の向上に努めるとともに、子育て支援サービスの機能や情報、子育て等に関する相談体制を強化し、すべての子どもが家庭環境や障害などに関わらず、健やかに育つための支援体制の充実に取り組みます。

## 5 文化財の保存・活用と伝統文化の継承

文化財は地域の歴史や文化を正しく理解するうえで欠かせない市民共有の財産であり、その適切な保存整備に努めます。また、文化財の情報発信や活用に取り組むことで、文化財の価値や保存継承の大切さについて理解促進を図り、地域に対する誇りや愛着の醸成、地域の宝を後世に継ぐ担い手の育成に努めます。

# 令和4年度の主な取組

総合教育会議をはじめ、教育委員会と市長部局とのさらなる連携強化を図るとともに家庭・学校・地域社会が一体となって下記の具体的な事業をはじめ、子どもの権利条例づくり事業、新型コロナウイルス感染症対策事業などに積極的に取り組みます。

※第2次南砺市総合計画事業で取り組むもの

### 1 豊かな人間性を育む学校教育の充実

—ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓く なんとっ子の育成を目指して—

#### (1) 自他を尊重し、思いやりと助け合う心の育成

※① ふるさと教育推進事業

- ② 市いじめ問題対策連絡会議を核にした子どもいじめ防止対策の推進
- ③ 「いじめ早期発見・早期対応のためのアンケート」の実施
- ④ よりよい学校生活と友達づくりのための「小・中学校生活アンケート調査」の実施
- ⑤ スクールアドバイザー配置事業
- ⑥ 特別支援教育コーディネーターによる「個別の教育支援計画」等の立案・策定への支援
- ⑦ 早期支援コーディネーターによる幼・保・小の連携を通じた情報提供及び相談体制の充実
- ⑧ スクールソーシャルワーカー、適応指導員等による相談体制の充実
- ⑨ 適応指導教室運営研修の実施
- ⑩ スタディ・メイトの配置による支援体制の充実
- ⑪ 学校図書館司書助手の配置及び図書館から司書の派遣による読書環境の整備・充実《拡充》

※⑫ 帰国・外国人児童生徒支援事業

- ⑬ キャリア教育の推進

## (2) 確かな学力の育成

- ① 小中一貫教育推進事業
- ② 兼務発令による小・中学校教員の授業交流の促進
- ③ 1人1台タブレット端末の活用の推進
- ④ ICT支援員の配置《新》
- ※⑤ 山村留学定住事業（長期山村留学（2年目））
- ⑥ 令和のとやま型教育推進事業《新》
- ⑦ なんとっ子まなびサポーター（国語・算数（数学）学習サポーター）の配置
- ⑧ 小・中学校へのALT派遣による外国語活動の充実
- ⑨ 児童生徒の学力を把握し指導の改善に役立てる「全国標準学力検査」（NRT）の実施
- ⑩ 英語検定（3級以上）助成事業
- ⑪ 英語学習パートナー派遣事業、理科観察実験支援事業
- ⑫ こどもの権利を意識した、教員の授業力向上に向けた研修の実施
- ※⑬ 地域教材副読本作成事業
- ⑭ 奨学資金支援事業の実施

## (3) 健やかな体の育成

- ① 地元食材を通して食と地域への理解を深める「なんとハートフルランチ」「なーんと！おいしい学校給食週間」「なんと自然給食ものがたり」の実施
- ② 給食調理業務委託《拡充》
- ③ 中学校部活動の地域移行・拠点校化の推進
- ※④ 中学校部活動指導員配置事業《拡充》
- ⑤ 南砺市地域部活動推進モデル事業《新》
- ⑥ 中学校合同部活動事業《新》

## (4) 学校教育を支える環境の整備

- ① 将来の学校のあり方の検討《新》
- ※② 電子黒板・実物投影機等の整備
- ③ 通学路安全点検の実施とスクールバスの計画的更新
- ④ スクールガードリーダー配置事業
- ⑤ 学校図書館図書の本の整備
- ※⑥ 義務教育学校「南砺つばき学舎」整備事業
- ⑦ 福光中部小学校、平中学校グラウンド改修工事《新》
- ⑧ 学校施設照明LED化の推進
- ⑨ チーム担任制（多学級合同指導体制）の推進
- ⑩ 事務職員の兼務発令による学校事務のチーム化への取組
- ⑪ 特色ある学校紹介（パンフレット、動画）の実施《新》
- ⑫ 教育教材備品の整備
- ⑬ 学校施設での新型コロナウイルス感染症対策の推進

## 2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進

### (1) 生涯学習活動の推進

- ① 地域の生涯学習活動への支援
- ② 地域づくり協議会の生涯学習担当者の資質向上に向けた研修会等の実施
- ③ 「南砺市民大学講座」「緑の里講座（高齢者大学）」の実施

- ④ 心豊かな子どもを育てる体験活動の実施
- ※⑤ 各小学校区で小学校の余裕教室等を活用した「放課後子ども教室」「土曜学習推進事業」の実施
- ※⑥ 中学生が夏休み等を過ごす際の学習の場を提供する「中学生学習支援推進事業」の実施
- ⑦ 社会教育団体の活動への支援
- ⑧ 地区高齢者学級への支援
- ⑨ 幼・保・小・中で開催される子育て講座等、家庭の教育力向上への支援
- ⑩ 「なんとっ子家庭教育 10 か条」の活用
- ⑪ 図書館デジタル化推進事業（ホームページ改修及びスマートフォン仕様）の実施《新》
- ⑫ 利用者ニーズに対応した図書館サービス（蔵書及びレファレンス）の充実
- ⑬ 「なんとみらい文庫」「YAみらい文庫」、「なんとぐるっと巡回本」の実施《拡充》
- ⑭ 「南砺市型学校司書モデル事業」の実施《拡充》
- ⑮ 地域図書館と南砺福野高校・南砺平高校との連携事業の実施

## （2）青少年健全育成活動への支援

- ① 地域に密着した活動を実施している青少年育成市民会議への支援

## （3）社会教育施設の整備・充実

- ① 各社会教育施設の指定管理者等による効率的な管理運営の推進
- ② 各社会教育施設の老朽化の著しい施設や機械設備の改修を実施
- ③ 各社会教育施設での新型コロナウイルス感染症対策の推進

# 3 健やかな心と体を育む生涯スポーツの推進

## （1）市民スポーツの推進

- ※① 運動遊びの大切さについて理解を深める「なんと元気っ子教室」の継続（保育園・認定こども園）
- ② 総合型地域スポーツクラブの活動支援
- ※③ スポーツクラブ指導力向上の為の資格取得に係る支援《新》
- ※④ スポーツ教室の開催や企業や事業所へのスポーツ指導者派遣《新》
- ⑤ ニュースポーツ、レクリエーションスポーツなどの生涯スポーツの紹介及び推進
- ⑥ 南砺市の特徴を生かしたスポーツ大会の誘致及び開催

## （2）競技スポーツの振興

- ① 体育協会・競技協会でのスポーツ競技力の向上及び選手・指導者の育成強化等への支援
- ② 全国大会等のスポーツ大会出場者への支援
- ③ 中部日本スキー大会開催及び全国高校総体スキー大会開催準備の推進

## （3）スポーツ施設の効率的な運営と整備

- ① 各社会体育施設の指定管理者等による効率的な管理運営の推進
- ② 各社会体育施設の老朽化の著しい施設や機械設備の改修を実施
- ③ 各社会体育施設での新型コロナウイルス感染症対策の推進

# 4 子どもが健やかに育つ環境の充実

—子どもの権利条例づくり事業を通じた「子どもも大人も幸せに暮らせるまちづくり」の実現—

## （1）未来をひらく子育て支援

- ① 第2期子ども・子育て支援事業計画に基づき、質の高い教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の計画的な実施（子ども・子育て会議の開催）
- ② 幼児教育・保育のカリキュラムの充実

- ・日常的に豊かな遊びや自然体験活動等を取り入れた幼児教育・保育の実施
  - ・親子が一緒になって行う運動遊び体験等の実施による子どもの運動能力の向上
  - ・保育者や保護者が同じ価値観に立ち非認知能力を身に付ける子育てをする意識の浸透
  - ③ 会計年度任用職員制度による保育士・看護師・調理員等の人材確保
  - ④ 保育士等の処遇改善事業《新》
  - ⑤ 子どもや保護者等を支援するための保育士研修の充実による資質の向上
  - ⑥ 幼児教育・保育施設へのアドバイザーの計画的な訪問と指導・助言による資質の向上
  - ⑦ 幼・保・小の連携の推進
  - ⑧ 健やかな保育環境の確保のための施設・設備修繕工事、備品購入等
  - ⑨ 私立保育園・認定こども園等への支援の充実（施設型給付の支給、特別保育事業への支援、民間保育園等育成利子補給金の支援）
  - ⑩ 保育園 I C T 活用支援システム「コドモン」による保育環境の向上
  - ※⑪ 子どもが幸せに育つための「子どもの権利条例づくり事業」《拡充》
  - ⑫ 上平保育園屋根改修工事《新》
  - ⑬ 教育・保育施設での新型コロナウイルス感染症対策の推進
- (2) 子育てを担う家庭への支援**
- ① 保育園・認定こども園等における幼児教育・保育の提供量の確保及びサービスの充実
  - ② 子育て支援センター等における子育て教室・講座の開催
  - ※③ 子育て・親育ち応援事業（パパ講座、もうすぐパパママ講座、祖父母子育て講座の開催）
  - ※④ 子育て交流サロンの実施（子育て支援センターでの土曜又は日曜開所の継続）
  - ⑤ ファミリー・サポート・センター事業の充実
  - ⑥ 次代の親の育成のため保育園・児童館等でのボランティア活動の受入促進
  - ※⑦ 児童館及び放課後児童クラブ事業の充実
  - ⑧ 児童厚生員及び放課後児童支援員等の処遇改善事業《新》
  - ※⑨ とやまっ子さんさん広場推進事業（地域主体の学童保育）への財政支援
  - ⑩ 保育料無償化等による経済的負担の軽減
    - ・国の幼児教育・保育の無償化
  - ※・保育料等軽減事業（第3子以降の保育料無料化や各種の保育料軽減（多子軽減、三世代同居軽減）等による経済的支援）
  - ※⑪ 認可外施設に通う子どもにかかる利用料への支援
  - ※⑫ こども医療費・妊産婦医療費助成制度の実施
  - ※⑬ 出生祝い金制度の実施
  - ⑭ 児童手当等の給付
  - ※⑮ 子育て応援制度の実施（低所得世帯への入学・卒業祝い金支給事業及び高校生通学定期乗車券購入費・医療費助成）
  - ※⑯ 子育て支援アプリシステム「なんと Hug (ハグ)」の改修による子育て支援の充実《拡充》
  - ※⑰ なんとのお祝い事業の実施
  - ※⑱ 子育て支援ガイドブック電子化事業
  - ※⑲ A I チャットボットシステムによる相談体制の充実《新》
  - ※⑳ 子ども家庭総合支援拠点の設置《新》
  - ㉑ 子育て短期支援事業（ショートステイ）の実施《新》
  - ㉒ 児童館日曜日親子ふれあい開館試行事業《新》
  - ㉓ 児童福祉施設での新型コロナウイルス感染症対策の推進



### (3) 地域や企業における子どもと家庭への支援

- ※① 子どもの居場所づくり促進事業の実施（多世代交流事業、学習支援事業）
- ② ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた理解促進と啓発活動の実施
- ※③ なんと！やさしい子育て応援企業認定制度等の実施による子育てと仕事の両立の促進

### (4) 配慮が必要な子どもと家庭への支援

- ① 発達障がい児や特別な支援が必要な子への専門的な支援の実施  
（訪問、個別相談会、教室・講座の開催）
- ② こども家庭相談室「スマイルなんと」やわらび学園等関係機関の専門の相談員による支援体制の実施
- ③ 要保護児童等の早期発見や適切な保護、未然防止を図るための要保護児童対策地域協議会の開催
- ④ 児童虐待の早期発見や早期対応の実施
- ⑤ 子どもの貧困対策の推進
- ⑥ ひとり親家庭への自立支援
  - ・ 修学資金・福祉資金等の貸付制度の周知徹底
  - ・ 自立支援等に関する随時相談の実施
- ※・ 母子家庭等就業・自立支援事業の実施
  - ・ ファミリー・サポート・センターひとり親家庭等利用支援事業

## 5 文化財の保存・活用と伝統文化の継承

### (1) 世界遺産マスタープランの推進

- ① 世界遺産の保存
  - ・ 世界遺産マスタープランの改訂
  - ・ 茅場造成への支援
- ② 出前講座など小中学校への啓発活動

### (2) 文化財展示・収蔵施設の機能充実

- ① 埋蔵文化財センター展示の充実、体験学習会の開催
- ② 高瀬遺跡国史跡指定50周年記念事業の実施《新》
- ③ 城端曳山会館展示の充実

### (3) 文化・歴史遺産の保存と活用

- ① 指定文化財等の適切な保存・活用と普及啓発の推進
- ② 古文書などの歴史資料や民俗文化財、埋蔵文化財の保存と調査・活用の推進
  - ・ 善徳寺文書調査活用事業への支援
  - ・ 福野夜高曳山行事総合調査の実施
- ③ 合掌造り家屋等茅葺き建造物の屋根葺替え等修理事業の実施
- ④ 地域の貴重な建造物の保存と活用のため、国の登録文化財制度を活用
- ⑤ 獅子舞、庵唄等の伝統芸能保存団体の活動支援
- ⑥ 南砺市文化財保存活用地域計画の策定《新》

※第2次南砺市教育振興基本計画に掲げる「基本目標5：魅力ある文化芸術活動の振興」に関する業務については「南砺市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例」に基づき、市長（文化・世界遺産課所管）が管理し、執行することとなっていることから本重点施策には掲載しない。

## VII 令和4年度 教育委員会施策体系と評価

第2次南砺市教育振興基本計画（R2.3 策定）

【基本理念】 未来を切り拓く南砺の人づくり

基本目標	No.	基本施策	評価	担当課
1 豊かな人間性を育む学校教育の充実	(1)	自他を尊重し、思いやりと助け合う心の育成	B	教育総務課
	(2)	確かな学力の育成	B	
	(3)	健やかな体の育成	B	
	(4)	学校教育を支える環境の整備	A	
2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	(1)	生涯学習活動の推進	B	生涯学習
	(2)	青少年健全育成活動への支援	B	スポーツ課
	(3)	社会教育施設の整備・充実	C	
3 健やかな心と体を育む生涯スポーツの推進	(1)	市民スポーツの推進	B	生涯学習
	(2)	競技スポーツの振興	B	スポーツ課
	(3)	スポーツ施設の効率的な運営と整備	B	
4 子どもが健やかに育つ環境の充実	(1)	未来を開く子育て支援	B	こども課
	(2)	子育てを担う家庭への支援	A	
	(3)	地域や企業における子どもと家庭への支援	B	
	(4)	配慮が必要な子どもと家庭への支援	A	
5 魅力ある文化芸術活動の振興	(1)	文化芸術創造プランの推進	B	文化・世界遺産課
	(2)	文化芸術活動への支援	B	
	(3)	文化ホール・美術館等の事業の充実	A	
6 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	(1)	世界遺産マスタープランの推進	B	文化・世界遺産課
	(2)	文化財展示・収蔵施設の機能充実	C	
	(3)	文化・歴史遺産の保存と活用	C	

評価の基準

- A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。  
 B：施策の効果は現れており、概ね順調に推移している。  
 C：施策の効果は現れているが、改善等の取組を要する。  
 D：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。

### 点検評価の評価基準変更について

※評価基準は令和5年度よりA, B, C, Dの4段階で評価する。

変更前

- A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
- B：施策の効果は現れているが、改善等の取組を要する。
- C：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。

変更後

- A：施策の効果が十分に現れており、順調に推移している。
- B：施策の効果は現れており、概ね順調に推移している。
- C：施策の効果は現れているが、改善等の取組を要する。
- D：施策の効果があまり現れていない。大幅な見直しを要する。

Ⅶ 評価について、現在の評価B,CはC,Dに下がる。

ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな人間性を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(1) 自他を尊重し、思いやりと助け合う心の育成		
主な取組	① ふるさと学習の推進 ② いじめの根絶 ③ 特別な支援を必要とする児童生徒への支援 ④ 読書活動の奨励 ⑤ キャリア教育の推進		

イ 主な指標（達成度）【自己有用感の熟成】

内容（指標）		目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
自分には良いところがあると回答した児童生徒の割合	小学校	90.0%	なし	73.2%	80.6%	%	%	89.5%
	中学校	90.0%	なし	72.3%	79.6%	%	%	88.4%

【ふるさと教育の推進】

内容（指標）		目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
今住んでいる地域の行事に参加していると答えた児童生徒の割合	小学校	90.0%	なし	79.4%	80.5%	%	%	89.4%
	中学校	70.0%	なし	58.8%	55.9%	%	%	79.8%



ウ 点検及び評価（主な取組の番号を先頭に記載）

評価	小中9年間を通し、地域を基盤としたふるさと教育事業を展開するための体制が構築されつつある。コロナ禍において、制限されていた活動が再開され、自己有用感の向上につながった。地域行事への参加率に大きな変化はなかったものの、地域への意識、郷土愛の醸成において効果があった。いじめ防止対策においては、学期毎に実施するアンケート結果を元に、学校で丁寧に調査し、いじめの早期発見、早期対応に繋げることができた。
B	① ふるさと教育推進事業では、地域資源、人、もの、地域行事や南砺市全体に視野を広げた取り組み等、各学校においてそれぞれ特色ある学習活動を実施し、小・中各1校ずつ市長への提言を実施した。提言内容を各校で共有できるよう、オンライン配信も行った。 ② 児童生徒のいじめの防止等に関係する機関、団体等の連携を図るため、南砺市いじめ問題対策連絡会議を2回開催し、南砺市に実際に起きている事例について意見交換するなど、いじめ防止対策に取り組んだ。また、小・義務教育学校入学児童・保護者

へのパンフレットの配布や全小・中・義務教育学校の児童生徒及び保護者へいじめの早期発見、早期対応のためのアンケートを学期ごとに実施した。

- ③ 不登校が長期化しないよう、適応指導員が家庭等対象者のいるところに出向くアウトリーチ型の支援や、スクールソーシャルワーカーによる巡回を実施した。特別支援教育コーディネーターは、効果的な指導助言を行うことに努めた。
- ④ 学校における読書活動については、情報メディアの普及や子供の生活様式の変化が少なからず影響し、読書量が減少していると考えられる。日常的に読書に親しむ児童生徒の指導・育成が課題である。
- ⑤ 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業については、新型コロナウイルス感染症の影響のため、実施期間を短縮して実施する等の対応も行い、中・義務教育学校8校全てが実施することができた。

エ 主な事業（主な取組の番号を先頭に記載）

事業名・目的	事業内容	事業費 千円 (予算額)
<p>①ふるさと教育推進事業</p> <p>: 受け継がれてきた歴史や文化、郷土芸能、特産物などを学ぶ。それらを築いた先人の生き方を学び、南砺市の特徴について理解を深めふるさとを愛し、将来地元を支える活力につながる意識を醸成する。</p>	<p>【事業内容】 地域の講師を招聘した体験的な学習活動や地域の特性を生かした学習活動等</p> <p>【交付金】 1校当たり8万円を基準とし、学級数に応じて加算</p> 	<p>2,145 (2,200)</p>
<p>②子どもいじめ防止対策事業</p> <p>: 児童生徒がお互いの良さや人との違いを認め、自信や夢をもって学校生活を送ることができるようにする。</p>	<p>いじめ問題対策連絡会議 2回開催 いじめ問題対策連絡会委員 16人</p> 	<p>155 (173)</p>

<p>②スクールカウンセラー配置事業</p> <p>: 児童生徒や保護者の心のケアや個に応じた支援、また教員への助言を行う。</p>	<p>公認心理師・臨床心理士等の資格を有する者を全小・中・義務教育に配置しカウンセリングを実施</p> <p>小学校 8校 中学校 7校 義務教育学校 1校 相談回数 延べ958回（R3：884回）</p>	<p>県事業</p>
<p>③適応指導員の配置</p> <p>: 児童生徒が学習や集団生活になじめるように援助し、教室に復帰できるようにする。</p>	<p>適応指導員 15人 小学校 5校 中学校 6校 義務教育学校 1校</p>	<p>15,604 (16,828)</p>
<p>③スタディ・メイトの配置</p> <p>: 学習内容の定着が困難な児童が、自力で解決できるように支援する。</p>	<p>スタディ・メイト 53人 小学校 7校 中学校 5校</p>	<p>66,729 (69,186)</p>
<p>③地区相談会事業</p> <p>: 乳幼児から児童生徒、人までの生活・学習・進路で困っている事。気がかりな事を相談する。</p>	<p>乳幼児から成人まで、本人、保護者、学校など関係者からの相談事業を実施</p> <p>【実施回数】18回（R3：18回） 【相談件数】30件（R3：32件）</p>	<p>21 (19)</p>
<p>③教育相談のつどい</p> <p>: 子育てにおいて、困っている保護者の不安解消及び軽減個に応じた関係機関に繋ぐ。</p>	<p>大学准教授、公認心理師・臨床心理士による個別相談を実施</p> <p>【実施回数】8回（R3：8回）</p>	<p>324 (319)</p>
<p>③適応指導教室</p> <p>: 不登校児童生徒を対象に、学校への復帰を支援するために、在籍校と連携しながら相談や学習指導を実施する。</p>	<p>適応指導教室「いおう教室」運営費 適応指導員 4人 アウトリーチ型支援 週2回訪問</p>	<p>4,033 (5,258)</p>
<p>③スクールソーシャルワーカー・特別支援教育コーディネーター活用事業</p> <p>: 児童生徒の実態を踏まえた助言や解決に向けた援助を行う。</p>	<p>教員、特別支援学校教員の資格を有する者を教育センターに配置し相談を実施</p> <p>スクールソーシャルワーカー 2人 特別支援教育コーディネーター 1人</p>	<p>6,609 (6,987)</p>

<p>④学校図書館司書助手の配置</p> <p>: 学校図書館において、日常的に読書に親しむ児童生徒の読書活動を支援する。</p>	<p>学校司書助手 11人                  小学校 8校                  中学校 6校                  義務教育学校 1校</p>	<p>6,809                  (7,241)</p>
<p>⑤社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業</p> <p>: 規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に付ける。</p>	<p>事業所数 163事業所 (R3: 19事業所)                  参加生徒数 383人 (R3: 25人)</p> 	<p>906                  (908)</p>

オ 今後の取組と改善点（主な取組の番号を先頭に記載）

- ① ふるさと教育推進事業では、市内全小・中・義務教育学校において、義務教育9年間を通じた指導計画に基づき、南砺市の歴史、自然、文化、産業、熱意・思い、まちづくり活動をはじめ、地域から市全体へ視野を広げた取り組みを行う。
- ② チーム担任制やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携を図り、多くの目で児童生徒を見取り、いじめの早期発見・早期対応に繋げる。
- ③ 適応指導教室を教育支援センターに改めたことをきっかけに、アウトリーチ型支援を更に強化し、不登校児童・生徒の学校への復帰だけを目指すのではなく、社会的自立を支援していく。
- ④ 読書週間やおすすめ本紹介等の行事を工夫し、計画的に開催する。さらに図書館司書助手等の活用により、児童生徒が幅広い分野の本に興味をもつことができるよう、市立図書館との連携、ネットワーク化を視野に入れた、情報共有を図る。
- ⑤ 社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業においては、中・義務教育学校、保護者、地域の事業者等各種団体との連携を密にし、職場体験や福祉・ボランティア活動等の受け入れ事業所の掘り起こしに努め、より多様な体験が可能となるよう働きかけていく。

## ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな人間性を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(2) 確かな学力の育成		
主な取組	① 小中一貫教育の推進 ② 少子化に対応した活力ある学校づくり ③ 情報活用能力の向上 ④ 幼・保小連携事業の推進 ⑤ 確かな学力の育成 ⑥ 教員の資質・指導力の向上		

## イ 主な指標（達成度）【学力向上の推進】

内容（指標）		目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと回答した児童生徒の割合	小学生	80.0%	なし	76.9%	78.0%	%	%	97.5%
	中学生	80.0%	なし	79.2%	75.0%	%	%	93.7%
自宅において自分たちで計画を立てて勉強していると回答した児童生徒の割合	小学生	80.0%	なし	77.5%	79.7%	%	%	99.6%
	中学生	70.0%	なし	62.8%	52.2%	%	%	74.5%
話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができていると回答した児童生徒の割合	小学生	85.0%	なし	74.8%	81.1%	%	%	95.4%
	中学生	85.0%	なし	76.3%	74.0%	%	%	87.0%

## ウ 点検及び評価

評価	<p>令和6年度に設置を予定していた次回の南砺市立学校のあり方検討委員会を2年前倒しし、改めて総合的に将来の市内の小中学校のあり方について検討を開始した。</p> <p>情報活用能力の向上においては、児童生徒のタブレット端末の活用が推進され、学習効果が上がった。</p>
B	<p>① 南砺市立学校のあり方検討委員会では、地域を基盤とした小中一貫教育を推進するとともに、利賀地域義務教育学校設置協議会では、校名の候補案を選定した。</p> <p>② 山村留学定住事業は、令和3年度から開始している長期山村留学事業が2年目を迎え、6人の継続生を含む13人が参加した。あわせて短期山村留学も継続しており、夏・冬計45人の参加があった。また、自然体験活動にも市内外から58人の参加があった。新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が中止となったものの、概ね順調に事業を実施することができ、地域の活動にも積極的に参加することで交流を深め、児</p>




<p>童生徒や、地域住民に様々な効果をもたらした。</p> <p>③ コロナ禍において、登校できない児童生徒がオンライン学習を実施することが出来た。</p> <p>④ 幼・保小連携の取組として、幼児期から小学校へ円滑に情報を引き継ぐため、引き続き早期支援コーディネーターを配置した。</p> <p>⑤ 児童生徒の学習のつまづきを解消するため、なんとっ子まなびサポーターをフルに活用し、学習内容のさらなる定着を図るようサポートした。</p> <p>⑥ 市教育センターでは、教職員等の指導力の向上を図るため、外部講師を招いた研修会や講演会を開催した。</p>
---

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費 千円 (予算額)
<p>①南砺市立学校のあり方検討委員会の開催</p> <p>: 市内の小中学校のあり方を検討し、教育委員会に対して提言を行う。</p>	<p>望ましい学校規模、学校区域及び児童生徒の学習・生活環境等を教育的な観点から、長期的な展望で総合的に将来の小中学校のあり方について検討することを目的に開催</p> <p>委員 30 人 R4 : 4 回開催</p>	<p>463 (637)</p>
<p>①利賀地域義務教育学校設置協議会の開催</p>	<p>令和6年度開校を目指して市教育委員会及び有識者、関係者等が協議を行う、利賀地域義務教育学校設置協議会を設置</p> <p>委員 14 人 R4 : 6 回開催</p>	<p>417 (613)</p>
		
<p>① 市単独講師の配置</p> <p>: 小規模校に対して、支援を行う。</p>	<p>小学校 1 人 (利賀)</p> <p>中学校 1 人 (平)</p> <p>義務教育学校 1 人 (南砺つばき学舎)</p>	<p>12,227 (12,300)</p>
<p>②利賀地域山村留学定住事業</p> <p>: 全国から山村留学生を受け入れることで、学校での多様な意見や、他者と切磋琢磨する機会を増やし、地域の活性化にも寄与する。</p>	<p>長期山村留学 参加者 13 人</p> <p>短期山村留学 (夏) 参加者 26 人</p> <p>(冬) 参加者 19 人</p> <p>自然と暮らし体験キャンプ 3 回開催 参加者 58 人</p>	<p>77,130 (78,010)</p>
		

<p>③ ICT支援員の配置</p> <p>：学校のICT活用に関する支援を行う。</p>	<p>教育センターにICT支援員として、教育情報化コーディネーターを配置し、学校のICT活用に関する支援及びICT教育や情報教育推進の課題の解決支援を実施</p> <p>ITCE（教育情報化コーディネーター） 1人</p>	<p>1,966 (2,047)</p>
<p>④早期支援コーディネーター配置事業</p> <p>：小学校へのスムーズな就学を支援する。</p>	<p>早期支援コーディネーター 2人 (内1名 兼スクールアドバイザー)</p>	<p>3,614 (4,037)</p>
<p>⑤学びのアシスト推進事業</p> <p>：教員志望の大学生を学校現場へ派遣し、児童の学習意欲の向上とともに、教員志望大学生の資質・能力等の向上を図る。</p>	<p>小学校5校に22人配置</p>	<p>138 (299)</p>
<p>⑤なんとっ子まなびサポーターの配置</p> <p>：教員の授業をサポートし、児童生徒の学習のつまずきを解消する。</p>	<p>全市立学校に配置</p> <p>小学校 10人 中学校 6人 義務教育学校 2人</p>	<p>17,105 (18,965)</p>
<p>⑤令和のとやま型教育推進研究委託事業</p> <p>：児童生徒の「資質・能力」の育成のための実践研究と検証改善を推進し、その成果の普及を図る。</p>	<p>【実施校・団体、研究課題】</p> <p>教育センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「チーム担任制」による学習指導の推進</li> <li>・教員の指導力向上研修</li> </ul> <p>井波小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題発見・解決型学習（PBL）</li> <li>・教科等横断的な学習（STEAM教育）</li> </ul> <p>福光中部小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的な学習を通して考えを深めていく子供の育成</li> </ul>	<p>600 (600)</p>

	井波中学校 ・「自己教育力の育成」～「道徳性の高揚」と「ICTを活用した授業改善」を中心とした「学習意欲の向上」の面から～ 福野中学校 ・オンラインを用いた国際交流体験による実践的な英語力の育成	
⑤外国語指導助手（ALT）の配置  ：英語への興味関心の向上及び外国語でのコミュニケーション能力の向上に結び付ける。	外国語指導助手 9人 （JET5人、委託4人） 全市立学校に配置  	44,887 (46,495)
⑥教職員研修事業  ：指導法の共有、指導力の向上を目指す。	南砺市教育センター主催の教育研修事業を実施  【名称】学校図書館研修 等 【回数】15回（R3：8回） 【受講者】延べ110人（R3：130人）	18 (287)

## オ 今後の取組と改善点

- ① 南砺市立学校のあり方検討委員会から出される市内の小中学校のあり方に対する提言を踏まえた教育行政を行っていく。  
利賀地域義務教育学校設置協議会において、義務教育学校の開校に向けた詳細な事項の検討を進める。
- ② 山村留学定住事業では、長期、短期の山村留学を継続して実施し、利賀地域の豊かな自然の中での体験を通じた魅力を発信しながら、継続的な長期留學生の確保に努める。また、市内児童生徒を対象とした短期の自然体験活動を実施し、地域間交流や事業に対する理解を深めていく。
- ③ 市教育センターへの、ICT支援員の配置を継続し、効果的な活用方法や、教材の提供をすることで授業の資質向上を図る。
- ④ 早期支援コーディネーター及びスクールアドバイザーの幼保小への訪問により、スムーズな就学に繋がるよう関係機関と情報共有し支援する。
- ⑤ なんとっ子まなびサポーターを継続して配置し、児童生徒の学習におけるつまづきを解消し、学力の向上を図る。
- ⑥ 全国学力・学習状況調査結果を踏まえて、県教委や市教育センターの研修の機会を有効に利用しながら、児童生徒が分かる授業を目指した指導力改善に努めていく。

ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな人間性を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(3) 健やかな体の育成		
主な取組	① 体力・運動能力の向上や部活動の支援 ② 生活習慣改善の支援 ③ 望ましい食習慣の形成 ④ 安全・安心な給食の提供		


イ 主な指標（達成度）【望ましい生活習慣の形成】

内容（指標）		目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
朝食を毎日食べている児童生徒の割合	小学生	100.0%	なし	96.6%	98.9%	%	%	98.9%
	中学生	100.0%	なし	95.2%	95.4%	%	%	95.4%
週に1日以上運動する児童生徒の割合（体育授業除く）	小学生	95.0%	なし	88.0%	84.0%	%	%	88.4%
	中学生	95.0%	なし	86.0%	84.0%	%	%	88.4%

ウ 点検及び評価

評価	部活動指導員・スポーツエキスパートを配置するとともに、地域部活動の推進、合同部活動を実施するなど効果的に指導が行われた。 食材費が高騰する中、学校給食費軽減対策事業負担金を各学校へ交付し、保護者の負担を増やすことなく、安全・安心な給食を提供できた。
B	① 部活動指導員を3人増員して配置し、効果的な体力向上の方法や専門的な技術指導を行った。また、モデル事業として地域部活動を6種目で行うとともに、合同部活動を18回行い、少人数で活動する生徒にも充実した活動を実施することができた。 ② 児童生徒の健康診断結果を基に、適正な指導で疾病予防等に取り組んだ。 ③④ 市内の小中学校では、地域の食材や郷土料理への関心を高め、食を通じて郷土を大切にする気持ちや食を大切にする心を育むことをねらいとして、なんとの日に合わせた「なんとハートフルランチ」や11月の1週間を「な〜んと！おいしい学校給食週間」に設定し、南砺市産の地場産物を多く取り入れた献立を実施した。

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費 千円 (予算額)
①部活動指導員配置事業 : 中学校部活動指導体制の充実及び顧問教員の部活動指導に係る負担を軽減する。	部活動指導員 配置校数 中学校、義務教育学校 8 校 配置人数 25 人 (R3 : 22 人) 地域部活動推進事業 (モデル事業) 地域部活動 6 種目 合同部活動 18 回実施	5,617 (7,433) 1,997 (2,365)
①スポーツエキスパート派遣事業 : 専門的な指導を受けることで、運動部活動において、技術・体力の向上を図る。	スポーツエキスパートの派遣 53 人 (R3 : 54 人) 中・義務教育学校全校に配置	2,863 (3,526)
①各種大会参加負担金・補助金 : 小中学生のスポーツ、文化振興及び競技力の向上を図るため、大会への出場に必要な経費を補助する。	中学校体育連盟、中学校文化連盟、日本スポーツ協会若しくは関連団体が主催または共催する大会またはそれと同等と認められる文化芸能の大会で、予選大会等の選考を経て出場する大会への参加負担金・補助金 小学校 38 件 (R3 : 24 件) 中学校 135 件 (R3 : 114 件)	14,152 (16,125)
②生徒児童の健康診断に係る事業 : 児童生徒の健康の保持増進を図る。	小中学校児童生徒の健康管理のため、学校医等による健康診断を実施 尿検査、心電図検査を委託により実施	7,882 (8,760)
③④なんとハートフルランチ食材購入負担金 : 食を通じて地域を理解することや、食文化の継承を図ること、自然の恵みや勤労の大切さなどを理解する。	南砺市にちなんだ「7月10日・なんとの日」に合わせて、南砺の地場産物を使った学校給食「なんとハートフルランチ」を実施 	551 (792)

<p>④ 学校給食費軽減対策事業</p> <p>: 保護者の経済的負担を増やすことなく、給食の質や量を維持し、児童生徒に必要な栄養バランスを第一に考えた学校給食を提供するため、給食費の不足分を市が負担するもの。</p>	<p>交付金</p> <p>小学校 9,600 千円</p> <p>中学校 7,500 千円</p>	<p>17,100 (17,100)</p>
---	--	----------------------------

### オ 今後の取組と改善点

- ① 南砺市中学校部活動ガイドラインに基づき、専門的な技術指導を受けられる部活動指導員配置事業とスポーツエキスパート派遣事業を引き続き行う。生徒にとって望ましい環境を構築するため、国の実証事業を実施し、持続可能な地域部活動が構築できるよう検証していく。
- ②③ 給食だよりを活用し朝食の欠食、偏食・孤食などの防止を積極的に広報し、家庭での意識向上を図るとともに、今後も家庭と連携、分担してよりよい食習慣を形成し食に関する問題を改善する。
- ③④ 南砺市地場産食材活用推進協議会と連携して地場産食材や農薬・化学肥料不使用の農作物を学校給食に活用し、食を通じて、生産者への感謝や地元食材の知識や理解を深め、学校と家庭、地域が一体となって食を大切にする心を育む食育を推進する。
- ④ 各学校において、違いのある学校給食費の差額を補てんし、市内全ての学校の給食費が均一となるようにする。

## ア 計画の体系

基本目標	1 豊かな人間性を育む学校教育の充実	担当課	教育総務課
基本施策	(4) 学校教育を支える環境の整備		
主な取組	① ICTの活用 ② 通学路の安全対策 ③ 学校図書館の充実 ④ 施設整備 ⑤ 教員の働き方改革 ⑥ 教育の機会均等		

## イ 主な指標（達成度）【教育のICT化に向けた環境整備の推進】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
電子黒板整備率 (1校あたり普通教室各1台、特別教室用6台)	100.0%	55.0%	100.0%	100%	%	%	100.0%

## 【トイレ洋式化の推進】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
小・中学校トイレ洋式化率	85.0%	75.8%	93.3%	93.3%	%	%	110.0%

## ウ 点検及び評価


評価	ICT機器の整備計画を前倒して進めることが出来た。学校整備事業においても、安全・安心で、快適な学校生活を過ごすための環境整備が順調に進んだ。
A	各学校が作成した特色ある学校教育紹介動画により、市民が自らの校区の学校の取組を知るきっかけとなった。
① 学校同士をネットワーク回線で結び、ICT機器を活用した遠隔協働学習を推進した。年度ごとに学習する科目を増やしており、総合的な学習の時間等を含む10科目を実施した。児童生徒が多様な考えに触れることで自己の考えが広がり、互いの考えの違いや良さを理解することができた。 ② 通学路の合同点検を実施し、点検結果、対策状況を通学路安全推進会議で検証を行い、ホームページで公開し、情報の共有に努めている。 ③④ 令和2年度から着手した南砺つばき学舎校舎整備事業は、令和4年度に旧中学校校舎部分の改修を行い、図書室や特別教室等の整備を行った。 ⑤ 複数教員がチームで児童生徒を指導・支援するチーム担任制では、各学校の規模や体制に応じ、朝の会や幾つかの教科において具体的にできることから始めている。また、必要な知識やスキルを学ぶ機会に繋がっており、教育の質の向上も目指して実施している。	

- ⑥ 南砺市準要保護児童生徒就学援助費を支給している世帯や、県内外に在学している南砺市出身の大学生等に対し、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的な負担が生じているとして支援事業を行った。

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費 千円 (予算額)
<p>①電子黒板・実物投影機等の整備</p> <p>：日常的にICT機器を活用し、効果的に授業に取り入れることで、情報活用能力の向上を図る。</p>	<p>電子黒板 33台 (R3:105台) (小学校8校:19台、中学校7校:14台)</p> <p>実物投影機 33台 (R3:105台) (小学校8校:19台、中学校7校:14台)</p> 	<p>7,873 (9,240)</p>
<p>①1人1台タブレット端末の活用の推進</p> <p>：子供たちを誰一人取り残すことなく、一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育、ICT環境を実現するため、タブレット端末を整備し活用を推進する。</p>	<p>タブレット端末 3,371台 (R2整備済)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育ネットワーク保守業務委託</li> </ul> 	<p>9,416 (9,416)</p>
<p>②通学路の合同点検</p> <p>：通学路合同点検（非積雪期および積雪期）を3年おきに各校校下で実施し、点検結果、対策状況を通学路安全推進会議で検証を行い、ホームページで公開する。</p>	<p>合同点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非積雪時 福野小、福光中部小、福光南部小、福光東部小</li> <li>・積雪時 福野小、福光中部小、福光東部小</li> </ul> <p>通学路安全推進会議の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年3月20日開催</li> </ul> 	<p>0 (0)</p>



<p>③小学校図書館図書整備事業</p> <p>：多くの図書にふれ、良い本と出会う機会を増やす。</p>	<p>学校図書館図書購入 2,233冊（R3：2,284冊）</p>	<p>3,976 (4,250)</p>
<p>④南砺つばき学舎整備（第2期）工事</p> <p>：井口小・中学校を統合して義務教育学校とする校舎を整備する。</p>	<p>【工事概要】 校舎建築 一式</p> 	<p>536,801 (537,062)</p>
<p>④小中学校グラウンド整備工事</p> <p>：暗渠排水の設置により、水はけを向上させ、グラウンド状態を改善する。</p>	<p>【工事概要】 福光中部小学校・平中学校グラウンド改修 一式</p>	<p>158,455 (178,586)</p>
<p>⑤チーム担任制</p> <p>：教員の負担軽減や授業の質的向上を目指す。</p>	<p>1学級1担任制から、1学年2クラスの学年を2人の教員で担当し、朝の会や特定教科の授業において、分担・協力して指導・支援している。</p> <p>小学校では、低中高学年ごとに朝の会や国社算理以外の教科をチームティーチングで指導・支援している。 中学校では朝の会や道徳科等において学年担当教職員が順番に行う。</p> <p>【教員の評価 アンケート実施】 教職員の負担減少 58.3% (R2：52.6%) 子どもの学びの質の向上 83.1% (R2：79.1%)</p>	<p>予算計上なし</p>
<p>⑥南砺市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給</p> <p>：保護者の経済的負担を軽減するとともに一人一人のニーズに応じた教育を実現する。</p>	<p>小・中・義務教育学校 302人 (R3：266件)</p>	<p>28,668 (36,645)</p>

<p>⑥大学生等就学支援事業</p> <p>: 大学生等は、コロナウィルス感染症の影響により、経済的影響が顕著となっている。県内外に在学する南砺市出身の大学生等を支援する。</p>	<p>【事業内容】 平成16年4月1日までに生まれた方。学生本人、保護者のいずれかが南砺市に住所を有していること。</p> <p>申請は1人1回のみ 対象学生 227人 (R3: 263人)</p> <p>【支給額】 1人 50,000円</p>	<p>11,380 (12,186)</p>
<p>⑥特色ある学校教育紹介</p> <p>: 地域に根差した取組を進めている南砺市立各学校の特色や教育活動について、広く保護者、地域の方に周知し、学校への理解を深めていただく。</p> <p>令和5年度から導入の特認就学制度を利用し、特認校への就学・転学等を検討している児童生徒、保護者の参考となる資料とする。</p>	<p>学校紹介リーフレット印刷 82千円 学校紹介映像作成等業務委託 3,520千円</p> 	<p>3,602 (4,032)</p>

**オ 今後の取組と改善点**

- ① GIGAスクール構想に伴う1人1台タブレット端末をはじめ、ICT環境が整ったことから、今後は、セキュリティ等管理面のサポートやICT機器の利活用という側面から市内全小・中学校における授業の充実を図る。また、「南砺市ICTの教育利用推進に係る整備計画」に基づき、機器の更新を計画的に実施する。
- ②④ 学校施設については、引き続き必要な大規模改修、長寿命化改修を実施すると共に、グラウンド改修による屋外教育環境の整備を推進し、安全・安心で快適に過ごせる学校環境の整備を実施していく。
- ③ 学校図書館と市立図書館をネットワークで結び、一体化したシステムにすることにより、図書環境の質的向上を図る。
- ⑤ チーム担任制においては、その効果的側面を検証し、今後は若手を育て、学年児童生徒をチームで見守り育てるという視点をポイントにして、他校の取り組みを取り入れたり、さらに改良を加えたりしながら推進していけるように働きかける。
- ⑥ 準要保護児童生徒就学援助費支給については、学校を通じて全児童・生徒の家庭に周知している。申請者が漏れることがないように、こども課と連携して子育て相談や、就学児相談において、制度の説明を行っていく。
- ⑥ 教育の機会における多様な選択肢を保証するため、令和5年度から開始された特認校制度を周知し、適切に運用していく。

## ア 計画の体系

基本目標	2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(1) 生涯学習活動の推進		
主な取組	① 地域づくり協議会の生涯学習活動の支援 ② 講座・講演会の開設・開催 ③ 図書館サービスの充実		

## イ 主な指標（達成度）【生涯学習の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
生涯学習活動を行っている市民の割合 (個人での活動を含む)(南砺市市民意識調査)	25.0%	21.4%	20.5%	21.9%	%	%	87.6%
各種講座参加の割合	20.0%	9.8%	18.0%	23.0%	%	%	115.0%
図書館入館者の割合 (入館者数÷人口)	553.6%	388.2%	400.7%	426.8%	%	%	77.1%
一人当たり図書貸出冊数	7.2冊/人	5.2冊/人	6.2冊/人	5.2冊/人	冊/人	冊/人	72.2%

## ウ 点検及び評価

評価	講座、講演を開催し、数多くの方が受講しており生涯学習の充実の効果が現れている。また、図書館では、数多くの事業を手掛け図書館サービスの充実を図り入館者及び図書貸し出し数が伸びてきている。
<b>B</b>	
<p>① 地域づくり協議会の生涯学習部門の職員研修を企画、県主催の研修などの情報を提供し、生涯学習部門職員の資質向上を図っている。コロナ禍のため中止となっていた現地研修や、講師による座学形式の研修を2回開催し、計121名の参加があった。</p> <p>② 市民大学や緑の里などの各講座については、コロナ感染症対策を行い3年ぶりに予定通り全講座を開催した。各講座で昨年より多くの申込みがあった。</p> <p>② 放課後子ども教室・土曜学習推進事業は、市内10か所において地域住民と連携し、文化・スポーツ・学習活動等を行い、延べ5,900人以上の参加があった。中学3年生を対象にした学習支援事業は、市内2箇所の開催から新たに2箇所追加し、計4箇所で開催した。実施回数が3回から11回の開催となり、開催数を増やすことができた。しかし、コロナの影響もあり、昨年度よりも人数が減少し、37名の参加となった。</p> <p>③ 市民のニーズに対応した図書館づくりのため、図書等のリクエストの随時受付、県内外の図書館との相互貸借制度を活用、各館で購入した新着本を全館で巡回貸し出しする「なんぐる」の児童本への拡充など、サービスの充実を図った。</p> <p>③ 親子で本に親しむ保育園等への絵本貸し出しサービス「なんとみらい文庫」では、保護者向けに育児本の貸し出しを開始し、家庭での読書の大切さを伝えた。</p> <p>③ 令和4年度中学校3校に図書館司書の派遣を拡充し、学校図書館の充実を図った。</p>	

- ③ 南砺福野高校と連携し、図書館研修を実施した。
- ③ 令和4年度の入館者数はコロナ禍から少しずつ戻ってきたが、座席の間引きや滞在時間の短縮を設けて開館した。
- ③ ホームページをリニューアルし、スマートフォン等による図書館利用カード機能の追加やマイページ機能の充実を図り、情報発信の強化も行った。

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>①南砺市生涯学習連絡協議会 研修事業の開催</p> <p>: 研修会や情報交換等を通して、生涯学習部門職員の資質向上を図る。</p>  	<p>第1回 生涯学習連絡協議会研修会 4月25日 参加者 61人 (R3: 56人) 演題 「越中から木曾義仲と承久の乱に迫る」 講師: 長村 祥知 氏 (富山大学講師)</p> <p>第2回 生涯学習連絡協議会研修会 8月2日 参加者 27人 (R3: 22人) 【現地研修】 勝興寺、立山博物館 (遥望館、まんだら遊苑)</p> <p>第3回 生涯学習連絡協議会研修会 12月23日 参加者 33人 (R3: 33人) 演題 「富山県の文化財」 講師: 富山県教育委員会 生涯学習・文化財室 主任 松井広信 氏</p>	<p>400 (400)</p>
<p>②市民大学講座の開設</p> <p>: 高い専門的知識を持つ講師による講座や技能の向上を目的とする。</p>	<p>南砺市民大学講座 13講座(R3: 13講座) 参加者 278人 (R3: 306人) 申込者 474人 (R3: 458人 R2: 343人 H31: 447人)</p> 	<p>1,476 (1,609)</p>
<p>②市民大学講演会等の開催</p> <p>: さまざまな分野の著名な講師を招き、教養を深める。 2回開催</p>	<p>市民大学講座開講式 5月28日参加者 230人(R3: 200) 演題 「天気の人から見た異常気象と気象災害への備え」 講師: 天達 武史氏 (気象予報士)</p>	<p>1,523 (2,040)</p>

	<p>市民大学講演会（社会教育推進大会） 2月19日参加者350人(R3:230人) 演題 「パッケンマッケンと考える これからの多文化共生」 講師：パッケンマッケン（漫才師）</p>	
<p>②高齢者大学の開設</p> <p>：高齢者が自らの生活に生きがいを見出すため、教養・趣味・技術等を楽しく学習できる機会を提供する。</p>	<p>緑の里講座 18回開催 参加者166人 延べ1,141人 (R3:14回開催 参加者119人 延べ937人)</p> <p>地区高齢者学級16学級実施 (R3:18学級)</p>	<p>1,411 (1,655)</p> 
<p>②放課後子ども教室・土曜学習推進事業</p> <p>：子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後や週末等に地域の方々の参画を得て、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動に取り組みを実施する。</p>	<p>放課後子ども教室推進事業 5教室 登録人数100人 実施172回 (R3:5教室 登録人数125人実施164回)</p> <p>土曜学習推進事業 4教室 登録人数等147人 実施59回 (R3:4教室 登録人数167人実施57回)</p> <p>中学生学習支援事業 12回実施 中学3年生30人参加 延べ37名 (R3:3回 登録人数40人延べ74名)</p>	<p>4,141 (4,411)</p> 
<p>②子ども体験活動の開催</p> <p>：さまざまな体験活動を通して、たくましい体と心豊かな子供を育成する。</p> 	<p>子ども伝統芸能塾「平、上平地域における伝統文化教室」 参加者延べ242人</p> <p>週末子供文化塾「ロボット・プログラミング体験」他3講座参加者延べ171人</p> <p>チャレンジ自然塾 「自然体験活動（スターウォッチング）」 他1講座 参加者 延べ140人</p>	<p>811 (1,017)</p>
<p>③図書館管理運営（図書館貸出し等サービス）</p>	<p>なんとぐるっと（なんぐる）巡回本貸出冊数 3,692冊(R3:3,873冊)</p>	<p>予算計上なし</p>

<p>：図書館資料の貸し出しサービスの充実、非来館サービス（保育園等、児童館）と家庭での読書活動の普及及び中学校への学校司書モデル事業を拡充開始し、利用サービスの充実を図る。</p> 	<p>なんとみらい文庫 14園の保育園・認定こども園 貸出冊数 10,321冊 (R3：13,413冊)</p> <p>児童館なんとみらい文庫 3児童館 貸出冊数 66冊 (R3：31冊)</p> <p>南砺市型学校司書モデル事業の拡充 市立図書館の司書を派遣 176回 (吉江、福野、井波、城端中) 貸出冊数 4,569冊(R3：5,222冊)</p>	 
<p>③南砺福野高校との連携</p> <p>：地域の高校との連携を図り、図書館への興味・関心を持ち、利用サービスの向上に努める。</p>	<p>令和4年12月22日 30人参加 (R3：27人)</p> <p>南砺福野高校図書委員1・2年生を対象利用案内、図書館見学、NDCで調べもの体験等を実施</p>	<p>予算計上なし</p> 
<p>③南砺市立図書館ホームページ改修</p> <p>：図書の検索から予約、貸出までスムーズになり、マイページ機能で利用状況を即時に反映可能など、利用者サービスの充実を図る。</p>	<p>令和4年11月1日から開始 Web予約件数 12,339件 (63.9%) (全予約件数：19,315件)</p> <p>スマートフォンによる図書館利用カード機能を追加。マイページ機能の強化、すべてのデバイスに対応した画面を構成。司書のコメント付きおすすめ本等、情報発信の強化。</p>	<p>4,268 (4,268)</p> 

オ 今後の取組と改善点

- ① 地域づくり協議会については、生涯学習活動の充実を図る為、研修等を実施する。
- ② 市民大学講演会や市民大学講座、緑の里講座等は、アンケート調査等の結果を参考に若年層にも支持してもらえる企画の立案を行う。また、各種団体と連携しての実施や告知・PR等を検討し、新規の参加者が増加するよう努める。
- ③ 図書館サービスの充実に向けて、図書館デジタル化推進による市立図書館と学校図書館のネットワーク化を図り、共通システム化と資料のICシステム化及び物流の充実を進める。また、利用者のニーズに対応した資料整備、管内配置や掲示等に努めます。
- ③ 市民の読書習慣の定着と図書館の利用促進を図るため、「なんとみらい文庫」、「南砺市型学校司書モデル事業」等の拡充や地域の高校と連携し、家庭・地域、図書館、学校を通じた子どもの自主的な読書活動の推進を行う。

## ア 計画の体系

基本目標	2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(2) 青少年健全育成活動への支援		
主な取組	① 地域に密着した活動の実施		

## イ 主な指標（達成度）【青少年健全育成の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
街頭巡回指導回数 (8支部計)	180回	124回	150回	143回	回	回	79.4%
青少年育成講演会 開催回数	4回	2回	2回	3回	回	回	75.0%

## ウ 点検及び評価

評価	青少年育成南砺市民会議を中心に、巡回指導や講演会等の開催、またPTAを中心に子育て講座の開催と、地域・学校・家庭が連携して地域に密着した活動を数多く実施し、青少年健全育成に効果があった。
<b>B</b>	
<p>① 青少年育成南砺市民会議の8支部（城端・平・上平・利賀・井波・井口・福野・福光）に交付する補助金を利用し、それぞれの地域の特性を生かした活動を行っている。学校、PTA、地域の諸団体と連携し、地域イベントなどでの巡回指導、あいさつ運動、青少年育成講演会等、地域に密着した活動を実施した。</p> <p>① 子育て講座事業では、市内認定こども園・保育園・小学校・中学校の12か所で19講座を開催し、延べ2013人の保護者等が家庭教育における子育ての課題や悩みの解消について学習した。「育児で忙しい日々の中、子どもとどう会話するか、日頃の接し方を改めて考えた、子育てを振り返るいい機会になった。」などの声が寄せられた。</p>	

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
①青少年育成市民会議への支援 : 青少年健全育成活動を支援するため	青少年育成南砺市民会議への実施委託 (市民会議から8支部へ補助金を交付)  <b>【活動内容】</b> 全体事業 「なんと元気っ子パワーアップ大作戦！ 荻原智子水泳教室」での啓発活動 (ティッシュ配布)	850 (850)





	<p>城端支部 有害図書回収・処分、 啓発看板塗り替え等</p>	
	<p>平支部 平橋清掃、座布団作成、 平中学校 PTA 親子活動等</p>	
	<p>上平支部 巡回指導、 小学生食育学習等</p>	
	<p>利賀支部 親子活動、 地区クリーン作戦等</p>	
	<p>井波支部 青少年育成講演会、 広報「若い芽」の発行等</p>	
	<p>井口支部 育成会親子活動、 サタスポ事業等</p>	
	<p>福野支部 「子ども 110 番の家」 ウォークラリー、 ふくの少年ハーティークラブ活動等</p>	
	<p>福光支部 子どものための学習会、 あいさつ運動、善行表彰等</p>	
<p>①子育て講座事業への支援 :家庭教育における子育ての 課題や悩みの解消について 学習するため</p>	<p>市内の認定こども園、保育園、小学校、中 学校で開催される家庭教育学級や講座に ついて、講師の謝礼経費を助成 (1か所 14,000円を上限) 19講座 参加者 2013人 (R3:14講座 参加者 798人)</p>	<p>123 (392)</p>

## オ 今後の取組と改善点

- ① 青少年の健全な育成のためには、家庭や学校の努力だけでは難しいため、地域において日頃から子どもたちを見守り注意することで、有害な情報や環境から子どもたちを守り、明るく健康でたくましく成長できるよう、引き続き各支部との連携を強化し更に地元と密着した活動の支援を行う。
- ① 今後も家庭教育の向上を図るとともに、少子化等の問題に対処するために、保護者に対するきめ細かな家庭教育支援の取組を推進する。

## ア 計画の体系

基本目標	2 生きがいある暮らしのための生涯学習の推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(3) 社会教育施設の整備・充実		
主な取組	① 大規模改修・設備更新の実施 ② 指定管理者による運営・管理		



## イ 主な指標（達成度）【社会教育施設の活用・整備・機能の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
社会教育施設の来館率（10施設）	380.0%	167.5%	208.8%	273.5%	%	%	72.0%
モニタリングの評価Aの施設数	3館 (5館中)	3館 (5館中)	3館 (5館中)	0館 (2館中)	館	館	0%

## ウ 点検及び評価

評価	利用者のサービス向上の為、指定管理者と協議をしながら改修・設備更新を行った結果、コロナ禍前には届かないが来館者率がアップした。また、令和4年度実施した2指定管理者施設のモニタリング評価はいずれもB評価であり目標値達成に至らなかった。
C	<p>① 主な生涯学習施設の改修工事として、井波総合文化センター屋上防水修繕工事、井波総合文化センタートイレ洋式化等改修工事、福野文化創造センター乗用昇降機更新工事、平若者センター春光荘防災設備更新工事等を緊急性等を考慮したうえで計画的に行った。</p> <p>② 城端勤労青少年ホームは、実証実験による城端庁舎の利用もあり、利便性が向上したことから利用者が増加したが、利用者満足度の観点からB評価となった。福野産業文化会館は、サービス向上の取組み状況の観点からB評価となっている。なお、前回までA評価の3館（福野文化創造センター他2館）の文化施設は、一括管理による運営に移行を行った初年度のためモニタリングの対象外になっている。</p> <p>B評価となっているが、指定管理者とは適宜連絡調整を行い、利用者のサービス向上を図り、前年度に比べ利用者増となっている。</p>

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
①井波総合文化センター屋上防水修繕工事  : 強風によりメモリアルホール防水シートが破損し、修繕するもの。	<p>【工事概要】</p> <p>屋上防水シート更新 778 m<sup>2</sup></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">工事前                      工事後</p>	12,320 (12,430)

<p>①井波総合文化センタートイレ洋式化等改修工事</p> <p>: 新型コロナウイルス感染症対策として利用者が安心して使用できるよう改修するもの。</p>	<p>【工事概要】</p> <p>トイレ洋式化改修 4 台、手洗器水栓自動化 21 台、小便器水栓自動化 16 台</p> 	<p>9,570 (9,667)</p>
<p>①福野文化創造センター乗用昇降機更新工事</p> <p>: 特殊建築物定期調査で要是正の結果及び一部の部品供給が停止の為更新を行うもの。</p>	<p>【工事概要】</p> <p>乗用昇降機更新 1 基 定員 11 人 (油圧式→ロープ式、)</p> 	<p>28,710 (32,780)</p>
<p>①平若者センター春光荘防災設備更新工事</p> <p>: 防災設備の適正な維持管理のため更新を行うもの。</p>	<p>【工事概要】</p> <p>自動火災報知設備 1 式、 非常用放送設備 1 式</p> 	<p>7,810 (8,030)</p>
<p>②社会教育施設指定管理</p> <p>: 利用者のサービス向上を図るため、適切で効率的な施設管理の実施</p>	<p>指定管理者による施設の維持・管理・運営 オカベ・ホクタテ共同体、福野中部まちづくり協議会、城端まちづくり協議会 合計 3 団体 5 施設</p>	<p>172,001 (172,441)</p>

## オ 今後の取組と改善点

- ① 令和5年度の主な生涯学習施設の改修工事として、福野文化創造センター及び城端伝統芸能会館では、舞台設備更新工事、平若者センター春光荘では、昇降機部品修繕工事、福光福社会館では、非常用放送設備改修工事等を行い、経年劣化による不具合を修理更新し施設の安全性を確保する。
- ①② 各施設の適切な維持管理の遂行と修繕計画を指定管理者等と協議しながら作成し、老朽化の著しい施設や機械設備の改修を実施していく。
- ② B評価となった施設については、利用者満足度を更に高めサービス向上、来館者数増を図っていただく。また、各施設管理者等と適宜連絡調整を行い、利用者のニーズに対応した管理運営を実施していく。

## ア 計画の体系

基本目標	<b>3 健やかな心と体を育む 生涯スポーツの推進</b>	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(1) 市民スポーツの推進		
主な取組	① 市民スポーツの振興 ② 総合型地域スポーツクラブの活動支援 ③ 地域スポーツ活動への指導・助言		

## イ 主な指標（達成度）【スポーツを行う市民の増加】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
スポーツを行っている市民の割合(南砺市市民意識調査)	50.0%	44.2%	44.6%	44.1%	%	%	88.2%

## ウ 点検及び評価

評価	子どもから大人まで様々な教室等を展開し、スポーツする機会の充実を図った。目標値には達していないが、スポーツを行う市民の割合は、ほぼ横ばいである。
<b>B</b>	

- ① 令和4年度もコロナ禍の影響を受け、指標の数値が昨年の44.6%から本年は44.1%となり0.5ポイント下がった。
- ① 子どもの体力の向上を図るため、幼児期からスポーツに親しむ習慣や意欲を養成することを目的に「なんと元気っ子教室」を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、市内15の全保育園等で開催し、64教室を実施した。運動遊びを通じて基本的な動きの獲得につながるよう、様々な遊びを子どもたちに実践させた。家庭においても実践できるよう、親子でできる簡単な運動遊びの紹介なども行った。普段から運動に親しみめるように保育士の研修も実施した。
- ①② コロナ禍の影響による市民が運動不足、運動実施率の低下及び健康の維持増進を図るため、事業所・企業向けスポーツ指導者派遣等事業新規に実施した。また、市の広報紙で日常的な運動の実施を勧めるとともに、総合型地域スポーツクラブに対し、クラブ入会促進、市民体力づくり教室、クラブ指導力向上支援事業を実施した。
- ② 総合型地域スポーツクラブ会員数の減少が続く、コロナ禍での運動離れによる体力の低下等、市民の健康への悪影響が懸念されることから、南砺市総合型地域スポーツクラブ入会促進事業補助金により、市民にスポーツクラブへの入会を促した。
- ②③ 法人化していない4つの総合型地域スポーツクラブ（たいら・五箇山・利賀・いのくち）に補助金を交付し、地域の特性を生かしたバドミントン、バレーボール、スキー教室等のスポーツ活動を実施し、スポーツの推進に取り組んだ。
- ③ スポーツ推進委員が定期的に専門部会や研修会を開催し、自らの資質向上に努めるとともに、地域や地区のスポーツ行事等で市民に指導・紹介する還元的な活動に努めている。
- ③ コロナ禍におけるスポーツ活動について、感染防止対策の徹底と感染リスクを回避した運営について指導・助言した。

エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>①なんと元気っ子教室</p> <p>: 運動遊びを通じた幼児期からの運動習慣を養成する。</p>	<p>市内保育園等に総合型地域スポーツクラブの指導者及び派遣スポーツ主事を講師として派遣し、運動教室を開催。</p> <p>15園で延べ64教室実施 (R3:15園 65教室) 保育士等対象研修 1回(R3:0回)</p> 	<p>178 (200)</p>
<p>②総合型地域スポーツクラブ活動支援</p> <p>: 市民の運動不足解消に向けたスポーツクラブの活動を支援やコロナ禍による会員減少対策。(新規3事業)</p> <p>: 法人化していない総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。</p>	<p>子どもから高齢者までを対象としたスポーツ教室及びイベントの開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民体力づくり教室開催事業</li> <li>・スポーツクラブ指導力向上支援事業</li> <li>・スポーツクラブ入会促進事業(新規再入会者)補助(1/2)。</li> </ul>  	<p>8,363 (8,700)</p>
<p>②市スポーツ推進委員協議会活動支援</p> <p>: スポーツ推進委員の研修会や専門部会の活動を支援する。</p>	<p>スポーツ推進委員 71人への報酬・各種研修会負担金等。</p> <p>出前講座派遣 県主催研修会等参加</p> 	<p>2,231 (2,894)</p>

オ 今後の取組と改善点

<p>① 市民が、各ライフステージにおける、目的や関心、適正に応じて自らスポーツに参画できるよう、各種スポーツイベントや教室の充実を図る。R4 新規事業の事業所・企業向けスポーツ指導者派遣等事業を促進していきたい。</p> <p>また、「なんと元気っ子教室」を通じ、保育園や家庭において、子どもたちが日々の生活のなかで自然と運動遊びに親しめるように取り組む。また、保育士等を対象とした研修を開催し、指導者の充実を図る。</p> <p>② アフターコロナを見据え、スポーツをする機会を図るため、スポーツ教室の開催等に対する総合型地域スポーツクラブへの支援を行う。</p> <p>② コロナが完全に終息した訳ではなく、今後も感染防止対策の徹底と感染リスクを回避したスポーツ活動の運営の指導・助言を含め、スポーツクラブのスポーツ指導員やスポーツ推進委員等がスキルアップを目指し、スポーツ庁等からの情報提供や定期的に専門部会や研修会を開催する。</p>
--

## ア 計画の体系

基本目標	<b>3 健やかな心と体を育む 生涯スポーツの推進</b>	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(2) 競技スポーツの振興		
主な取組	① 南砺市体育協会の活動支援 ② 選手育成・指導体制の充実 ③ アスリートを応援する機運の醸成		

## イ 主な指標（達成度）【競技力の向上に向けた取組の効果】

内容(指標)	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
全国大会等 の出場選手 における市 出身選手の 割合	高校総体 10.0%	高校総体 ※冬季のみ 63.6%	高校総体 8.5%	高校総体 8.8%			高校総体 88.0%
	国民体育 大会 18.0%	国民体育 大会 ※中止・延期	国民体育 大会 ※冬季のみ 40.3%	国民体育 大会 11.0%	%	%	国民体育 大会 61.1%

## ウ 点検及び評価

評価	市体育協会等の取り組みにより選手育成は着実に進捗している。世界大会での入賞や全国大会で優勝等の活躍があり、競技スポーツの振興の効果が現れている。
<b>B</b>	<p>①② 市体育協会の補助金交付を通じて、各競技の競技力向上と少年スポーツの活動支援、ジュニアアスリート育成に努めている。</p> <p>② スポーツ少年団の加入者は558人。うち小学生は513人で加入率は25.8%と県内市町村では3番目に高い。また、市内少年団の指導体制も整っており、熱心な指導が行われている。</p> <p>② 「なんと元気っ子パワーアップ大作戦！」を開催して、著名なオリンピック等を招聘し、直接指導してもらう機会を設け、子供たちにスポーツへの興味・関心を高めた。</p> <p>③ 全国及び北信越等の大会に出場する個人または団体に対して激励金を交付し、市民挙げての応援の気持ちを表し、さらなる競技力の向上につながるよう支援している。</p> <p>①②③ 今年度、コロナ感染防止対策の徹底と感染リスクを回避した安全な活動等の運営を進めた。</p>

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
①②体育協会活動支援  : 競技力向上やスポーツ少年団の育成のため。	協会事務局、各競技協会への補助やスポーツ少年団活動支援、競技力向上事業の実施を行う。 	30,000 (40,000)
②青少年健全育成助成事業  : ジュニアアスリートのスポーツへの興味・関心を高める。	なんと元気っ子パワーアップ大作戦！ 「萩原智子水泳教室」 参加者 110名 (昨年同事業参加バスケットボール117名)  	1,009 (1,009)
③全国大会及び北信越大会等出場者支援  : 選手の激励を行う。	全国大会及び北信越大会等出場者へ激励金を交付する。 該当延べ人数 484人(R3:341人)  	3,650 (3,750)

## オ 今後の取組と改善点

<p>① 市体育協会では、ジュニア選手に対し特別の指導を行うことにより、全国大会へ出場するための競技力向上を目的とした「特別強化育成事業」を令和5年度において実施することとしており、市として支援する。</p> <p>② 中学校部活動の拠点校化・地域移行に伴うスポーツ少年団の改革について、関係団体に対し助言等を行い、より充実した選手育成体制となるよう支援する。</p> <p>②③ 高校総体スキー推進室を中心に、第73回全国高等学校スキー大会の開催機運を高め、市民のスポーツに対する意欲向上のきっかけにするとともに、全国大会出場選手等を応援する取組みを行う。</p>
---

## ア 計画の体系

基本目標	3 健やかな心と体を育む 生涯スポーツの推進	担当課	生涯学習スポーツ課
基本施策	(3) スポーツ施設の効率的な運営と整備		
主な取組	① 指定管理者による適切な管理・運営の実施 ② 効率的な体育施設の活用		

## イ 主な指標（達成度）【施設利用の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
スポーツ施設利用 延べ人数	58万人	37万人	39万人	44万人	万人	万人	75.9%

## ウ 点検及び評価

評価	利用者の利便性向上を図る為、各施設の適正な維持管理の遂行と計画的な修繕について、指定管理者と協議しながら最善策を施している。しかしながら、受益者負担の適正化やスポーツ施設の利用者の減少など課題が多く、施策の効果は現れているが、改善等の取組を要する。
B	<p>① 指定管理者制度の導入により管理運営を行っている社会体育施設は、体育館 16、屋内グラウンド2、グラウンド2、野球場2、プール2、テニスコート4、ゲートボール場1、その他施設3の合計32施設である。</p> <p>①② 主要な社会体育施設は、4地域のスポーツクラブが南砺市スポーツ施設管理共同体として指定管理一本化となり、利便性向上と効率的な管理や安全で快適な施設の利用環境の維持に努めている。</p> <p>① 新型コロナ感染拡大の影響もあり、利用人数の目標値58万人を下回っているが、昨年よりも利用人数は増となった。 スポーツ庁等から発出されたガイドライン等を指定管理者へ通知するなど、引き続き感染予防のための対策を行いながら施設運営を行っていたため、体育施設からの感染者は発生しなかった。</p>

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
①体育館等指定管理 : 利用者のサービス向上を図るため、適切で効率的な施設管理の実施	指定管理者による施設の維持・管理・運営 南砺市スポーツ施設管理共同体 27施設 医王アローザ(株) 4施設 庄川自動車(株) 1施設 合計 32施設 (R3: 32施設)	228,746 (234,316)



<p>①②福光プールプール棟照明 設備更新工事</p> <p>: 施設環境の改善を行う。</p>	<p>【工事概要】</p> <p>照明器具（MF400W 相当） 17 台 格納箱（ステンレス製作品） 12 台</p> 	<p>8,800 (8,952)</p>
<p>①②福光体育館トレーニング 機器購入</p> <p>: 経年劣化したトレーニング 機器の更新を行う。</p>	<p>【事業概要】</p> <p>トレッドミル 1 台 クロストレーナー 1 台</p>  	<p>2,695 (2,757)</p>
<p>②新型コロナウイルス感染症 予防対策事業</p> <p>: トイレ便器の洋式化及び手 洗器自動水栓化等を行う。</p> 	<p>【事業概要】</p> <p>城端東部体育館 トイレ 2 台 井波社会体育館 手洗器 3 台 福野体育館 手洗器 39 台 いなみ木彫りの里テニスコート トイレ 3 台 福光プール トイレ 6 台・手洗器 14 台 たいらクロスカントリー場 小便器水栓取替 2 台・手洗器 2 台 クレ射撃場 手洗器 2 台</p>	<p>14,045 (14,255)</p>

## オ 今後の取組と改善点

- ① 引き続き各施設の適正な維持管理の遂行と計画的な修繕について、指定管理者と協議しながら実施していく。また、施設を利用する市民へのアンケート等で把握できたニーズに対応できるよう、管理運営についての改善策を検討する。
- ①② 受益者負担の適正化を図るため、主要体育施設の利用条件の見直しを含め、一層住民サービスの向上につながる体育施設になるように、指定管理者である南砺市スポーツ施設管理共同体等と協議・検討を進める。
- ①② 体育施設や附帯する設備機器の経年劣化に伴う修繕案件が増えていることから、指定管理者に施設・設備の状況について確認を取り、公共施設再編計画等に準じて、計画的に修繕や更新を進めていく。
- ①② 市民の運動離れによる体力の低下等が懸念されることから、指定管理者等に安心安全な施設管理を助言・指導し、広報等で市民に施設利用を促すことで体力向上や健康の維持増進に繋げていく必要がある。令和5年度は、スポーツ指導者派遣等事業、市民体力づくり教室開催事業、スポーツクラブ入会促進事業、スポーツクラブ指導力向上支援事業を引き続き実施し、体育施設の利用増とスポーツ実施率向上を図る。

## ア 計画の体系

基本目標	4 子どもが健やかに育つ環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(1) 未来をひらく子育て支援		
主な取組	① 幼児教育・保育のカリキュラムの充実 ② 職員の人材確保と資質の向上 ③ 幼・保・小の連携		

## イ 主な指標（達成度）【保育研修等の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
全国研修への参加	12人	1人	5人	6人	人	人	50.0%
県内研修への参加	150人	93人	113人	117人	人	人	78.0%

## 参考【保護者満足度】

内容（指標）	目標値	—	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
保育園ICT支援システム「コドモン」 利用満足度	80%	—	67.4%	68.1%	%	%	85.1%
利便性満足度	80%	—	73.2%	76.8%			96.0%

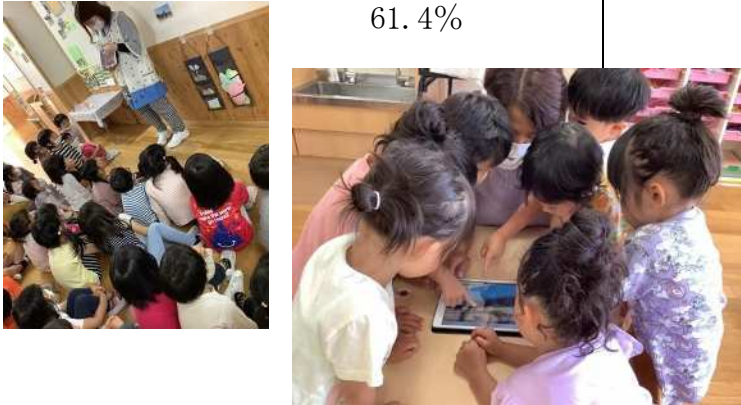

## ウ 点検及び評価


評価	保育アドバイザーや自然保育アドバイザーによる巡回訪問を実施し、幼児教育・保育のカリキュラムの充実に向けた取組を進めている。保育園ICT支援システム「コドモン」が、保護者の高い利用満足度を得ていることや、保育士の事務時間の削減につながるなど、施策の効果があつた。
<b>B</b>	
①	子どもの主体性や自己肯定感を育み、好奇心や創造力を発揮させ自ら成長する力を伸ばすため、自然を取り入れた保育カリキュラムについて、職員全体の共通認識が図れるよう取り組んでいる。自然保育アドバイザーによる管理者向け（園長・副園長）の自然保育研修を実施した。豊かな自然環境を活用した保育の取組を学び、各園での保育や環境の見直しを行った。
②	保育園ICT支援システム「コドモン」をより効果的に活用するための委員会を設置し、コロナ禍における緊急連絡等の一斉配信や、保育士の事務効率化及び保育の質の向上を図った。使用方法等のマニュアル化や保護者アンケートから見えた課題の改善に向けた協議を行うことで保護者や職員の利用満足度の向上に努めた。
②	子どもの育ちのために必要な職員を確保していくため、保育士の処遇改善を行った。会計年度任用職員の職種に国の制度である「子育て支援員」を新たに設け、資質向上と人材確保に努めた。
②	職員の資質向上を図るため、保育アドバイザーによる助言・指導の取組内容を拡充し、全園での巡回訪問と役職別研修を実施した。
③	市内保育園等の施設は、地域の教育・保育施設として公私立園とともに重要な役割

を担っている。公私立の幼保園長会を例月開催して連携を図り、感染症対策の情報共有や充実した幼児教育・保育に向けた意見・情報交換に努めた。

エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>①幼児教育・保育のカリキュラムの充実</p> <p>: 教育子どもの主体性や自己肯定感を育み、好奇心や創造力を発揮させ自ら成長する力を伸ばす。</p>	<p>自然保育のカリキュラムの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進事例研修 コロナ禍で視察研修無し (R3: 小矢部市認定こども園石動保育園 参加 19人)</li> <li>・自然保育アドバイザーによる巡回訪問 (環境設定の見直し、自然物を活用した遊びの指導) の実施 3園×3回 ※他園の職員も参加</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察指導員による自然体験・自然観察会の実施 公立9園18回、私立1園3回</li> </ul>  	<p>45 (45)</p>
<p>①子育て教室・講座</p> <p>: 親子のふれあう時間を増やし、親が子育てを学ぶ。</p>	<p>各種子育て教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子教室の開催 4園4回開催 132人参加</li> </ul> 	<p>845 (2,211)</p>

<p>②保育園ICT支援システム運用開始</p> <p>：保育士の働き方改革、保育の質の向上を図るとともに保護者の安心感・満足度向上を高める。</p>	<p>保育園ICT支援システム「コドモン」使用料及びネットワーク年間保守業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の利用満足度 68.1%</li> <li>・利便性満足度 76.8%</li> <li>・職員(保育士)満足度(事務の効率化) 61.4%</li> </ul> 	<p>5,906 (5,906)</p>
<p>②保育士・看護師等の確保</p> <p>：人材を確保し、より質の高い保育を実施する。</p>	<p>会計年度任用職員（フルタイム・パートタイム）の人材を確保 63人</p> <p>資格取得</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士 3人</li> <li>・子育て支援員 6人</li> <li>・調理師 1人</li> </ul>	<p>461,306 (470,432)</p>
<p>②保育士研修</p> <p>：様々な研修会を実施し保育の質の向上を図る。</p>	<p>新人保育士・管理者研修や乳児保育・安全対策等の研修、園内公開保育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国研修 6人</li> <li>東海北陸研修 2人</li> <li>県内研修 117人</li> <li>・市内公開保育実施園数 8園</li> <li>・市主催の各種研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>管理者研修3回開催 55人参加</li> <li>新人保育士研修5回開催 42人参加</li> <li>教育担当者研修3回開催 33人参加</li> <li>こどもの権利条例研修1回 341人参加</li> <li>その他各種研修16回開催 延べ1,221人参加</li> </ul> </li> </ul> 	<p>106 (130)</p>

<p>③保育アドバイザーの巡回訪問、役職別研修</p> <p>：保育内容や指導方法、環境改善等の助言・指導を受け、職員の資質の向上を図る。</p>	<p>保育アドバイザーによる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園の巡回訪問の実施 全12園×1日実施</li> <li>・役職別研修の実施 園長・副園長・園長補佐・主査・主任の役職ごとに各3回 参加者延べ160人</li> </ul> <p>園長研修 39人 副園長研修 21人 園長補佐研修 36人 主査研修 20人 主任研修 44人</p> 	<p>190 (195)</p>
<p>③幼・保・小の連携</p> <p>：就学前の育ちと学びをつなげ幼児教育・保育の充実を図る。</p>	<p>各小学校において、幼・保・小連絡会を開催し、幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携を進めるため、意見交換を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施園数12園</li> </ul>	<p>予算計上なし</p>

## オ 今後の取組と改善点

<p>① 自然を取り入れた保育カリキュラムについて、先進事例を視察し、職員全体で共通認識が図られるように取り組み、自然保育のモデル園の設置に向けての検討を進めていく。合わせて、南砺市こどもの権利条例の理念を十分理解し、幼児教育・保育の充実に生かしていく。</p> <p>② コドモン委員会で保育園ICT支援システム「コドモン」のお知らせや活動記録（ドキュメンテーション）の配信について、内容等全園共通認識をもって活用できるように取り組んでいく。引き続き保護者・職員満足度調査における課題についてはコドモン委員会で協議し改善していく。</p> <p>② 引き続き子どもの育ちのために必要な職員を確保していくため、今後も会計年度任用職員の資質向上を図り、フルタイム勤務の増員に取り組む。会計年度任用職員の職種で国の制度である「子育て支援員」を増やしていくことで、保育に必要な人材確保に努める。</p> <p>② 公立全12園での巡回訪問を実施し、各園での公開保育を通して保育アドバイザーより保育内容や指導方法、環境の改善等の助言、指導を受け、職員の資質の向上を図る。各園の職員が、大規模園の公開保育や討議、事前研修に参加することにより市内保育園全体の資質向上を図る。</p> <p>② 自然を取り入れた保育方法を学ぶため、自然保育アドバイザーを1名増員し、環境の改善等の助言・指導を実施する。</p> <p>③ 引き続き公立園との連携を図り、市主催の研修機会の提供など市全体の幼児教育・保育の充実に努める。</p>
---

## ア 計画の体系

基本目標	4 子どもが健やかに育つ環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(2) 子育てを担う家庭への支援		
主な取組	① 多様化する働き方やニーズに対応した幼児教育・保育サービスの充実 ② 安心できる相談体制と子育て情報の発信の充実 ③ 子育てを支援する環境の充実 ④ 子育て家庭への経済的負担の軽減		

## イ 主な指標（達成度）【子育て家庭への支援の充実】

内容（指標）		目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
就労しながら無理なく子育てできると感じる市民の割合	(南砺市市民意識調査)	70.0%	62.1%	65.2%	58.9%	%	%	84.1%
	(公立保育園保護者アンケート)	70.0%	—	79.9%	80.0%	%	%	114.3%

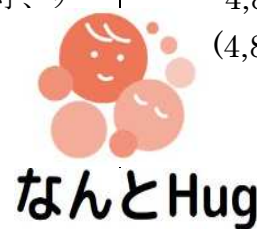
## ウ 点検及び評価


評価	受け入れ枠の十分な確保や保育料等の軽減、職員の処遇改善など、安定的な園運営を行いながら保育サービスの提供を行っている。SNSを活用した子育て支援体制の充実を図った。「南砺市こどもの権利条例」を制定し、普及啓発活動に努め、こどもの権利に対する認識が深まった。
<b>B</b>	<p>① 保育園・認定こども園等において、公立・私立の教育・保育施設が連携して受入枠（提供量）を確保し、待機児童ゼロを維持している。コロナ感染拡大防止対策を行いながら保育サービス提供体制を維持するよう努めた。</p> <p>① 私立保育園・認定こども園等に対する新型コロナウイルス感染症対策のための物品・備品購入費用の援助や職員の処遇改善補助金、光熱費等高騰対策支援を行い、安定的な園運営の支援に努めた。</p> <p>② ③ 子育て支援アプリ「なんと Hug(ハグ)」の機能強化のため、システム改修を実施し保健事業の予約機能やリマインド機能等を追加した。子育て支援センター事業の予約に活用することで、アプリダウンロード数、アカウント登録数の増加を図り、出産から子育てへの切れ目のない支援、コロナ禍でも安心できる子育て支援体制の充実に取り組んだ。子育て支援センター事業についても、男女がともに子育てを担う意識を高める視点を取り入れた講座や祖父母などを対象とした講座、各種相談会等を実施し、子育てを支援する環境の充実に努めた。</p> <p>③ 「なんとみらい文庫」（中央図書館との共同事業）を拡充し、公立全保育園と児童館に加え、私立認定こども園においても実施し、家庭での読書活動の推進に努めた。</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めながら、児童館及び放課後児童クラブの運営管理を行い、こどもたちにとっての安心安全な居場所の確保と子育て家庭を支援する環境の充実に努めた。</p> <p>天候に関わらず親子で気軽に遊ぶことのできる場所のニーズを把握するため、市内児童館において日曜開館を試行的に実施した。</p>

- ③ 令和4年12月に「南砺市こどもの権利条例」を制定した。制定にあたり、2年間で策定委員会を5回、素案検証委員会を3回開催したほか、「子ども」「人づくり」「環境づくり」の各ワーキンググループをそれぞれ6回ずつ開催して、こどもや教職員・保育士をはじめ、多くの市民に条例づくりに参画いただいた。
- 令和5年2月には条例制定記念イベント実施したほか、市内小中学校でこどもの権利に係る説明会を行うなどの普及啓発活動に努めた。
- ④ 3歳～5歳児の副食費及び0歳～2歳児の保育料について、市の独自軽減として第3子以降の無償化、多子世帯軽減、三世代同居世帯軽減を行った。
- ④ こどもの成長過程における経済的負担の軽減を図るため、中学生以下のこどもに係る医療費自己負担額を全額助成した。また、高校生を養育する低所得の子育て家庭に対しても、医療費を全額助成するとともに通学定期券購入費についても1/2助成を行った。

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
①施設型給付の支給 ：私立園の質の高いサービスの提供を支援する。	私立保育園・認定こども園に対する運営費の給付	323,652 (325,897)
①地域子ども・子育て支援事業 ：特別保育サービスの充実を図る。	子ども・子育て支援事業計画に従って実施する事業 ・一時預かり事業 利用者数 1,253人 ・延長保育事業 利用者数 544人 ・病児保育事業（病児・病後児・体調不良児対応）利用者数 1,181人（R3：1,072人）	42,346 (45,905)
②③子育て支援アプリシステム運用 ：コロナ禍であっても、子育てにおける安心感の提供・満足度向上を図る。	子育て支援アプリシステム年間保守、サーバー保守、システム改修業務 ・アプリダウンロード数 516件 ・アカウント登録数 227人 ・相談件数 412件	4,839 (4,839)
③施設・設備の維持・管理 ：保育園施設・設備の整備で子育て環境の充実を図る。	保育園施設・設備の更新、修繕、保育備品の購入	19,194 (12,742)
③子育て支援センター事業（子育て交流サロン事業、子育て親育ち応援事業） ：親子の交流の場や子育て関連情報を提供し、家庭で子育てをしている保護者を支援する。	子育てに関する相談や講習等を実施 ・祖父母の子育て講座 10回開催、参加者数40組 ・ハッピー7（7ヶ月の乳児対象）13回開催、参加親子数84組 ・はじめましての日（はじめての利用者対象）12回開催、参加親子数76組	50,892 (53,923)



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふたご・みつご・なんとっ子</li> <li>毎月22日に開催</li> <li>・パパ講座 6回開催、参加者数40組</li> <li>・もうすぐパパ・ママ講座 4回開催、参加者数30組</li> <li>・子育て支援センターの土・日曜日 開所（各1か所）</li> <li>利用親子数延べ1,993人 (R3:1,954人)</li> </ul>	
<p>③児童館指定管理</p> <p>：児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、及び情操を豊かにする。</p>	<p>児童館・児童センター 4館</p> <p>利用者数 18,686人 (R3:17,317人)</p>  <p>上記のうち、日曜 開館試行による利用者数122日（38日間）</p>	<p>31,339 (31,339)</p>
<p>③放課後児童クラブ事業</p> <p>：小学校に就学児童であって、その保護者が労働等により昼間家庭にいないものに、授業の終了後に児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。</p>	<p>市直営 4クラブ、運營業務委託 5クラブ</p> <p>登録者数447人、延利用者数49,993人 (R3:437人、52,734人)</p> 	<p>43,678 (45,664)</p>
<p>③子どもの権利条例づくり事業</p> <p>：こどもの権利条例の策定、こどもの権利の普及啓発に向けた取組を推進する。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・策定委員会 3回</li> <li>・素案検証委員会 3回</li> <li>・ワーキンググループ3部会 各2回</li> <li>・シンポジウム(R4.8.6)</li> <li>・条例制定記念イベント 「なんとキッズライツDAY」(R5.2.11)</li> <li>・啓発物品の作成・配布 キャラクターシール作成（小学生） 普及パンフの配布（市内全戸） 小学生向け普及パンフの作成 ポスター配布（市内全域）</li> <li>・啓発用木製玩具の作成 (保育園・子育て支援センター・児童館に配布)</li> </ul>	<p>5,290 (6,019)</p>
<p>③なんとみらい文庫事業</p> <p>：保育園での図書の貸し出しを行い、家庭教育力の充実を図る。</p>	<p>中央図書館との共同事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公立保育園 全12園+</li> <li>・私立認定こども園 2園 10,321冊</li> <li>・児童館 3館 66冊</li> </ul> 	<p>予算計上 なし</p>



<p>④保育料軽減等による経済的支援（歳入）</p> <p>：子育て家庭への経済的負担の軽減を図る。</p>	<p>第3子以降の保育料等無料化 多子世帯（同時入園）の保育料軽減 三世帯同居する世帯の保育料軽減</p>	<p>59,590 (64,396)</p>
<p>④こども妊産婦医療費助成事業、養育医療給付事業</p> <p>：子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。</p>	<p>医療費（保険適用分）の自己負担分を助成 こども医療（0歳～中学生） 4,853人 妊産婦医療 79人 養育医療 ※ 6人 ※ 未熟なまま産まれた乳児の指定医療機関における入院医療費</p>	<p>115,763 (121,700)</p>
<p>④子育て応援制度事業</p> <p>：子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。</p>	<p>高校生通学定期券購入補助金 3,535千円 高校生医療費助成 2,625千円</p>	<p>4,829 (5,355)</p>

## オ 今後の取組と改善点

- ① 公立・私立保育園・認定こども園等において、地域の教育・保育施設として今後も受入枠の確保や連携、光熱費等高騰対策支援を行うことで安定した幼児教育・保育の提供に努める。医療的ケア児の受け入れのため、プロジェクトチームを立ち上げ検討していく。
- ② 引き続き子育て支援センター事業の予約等に活用するなど子育て支援アプリ「なんと Hug(ハグ)」の利用率向上を図り、アプリ利用者を対象とした子育てに関するニーズ調査を実施・分析することで、子育てに関する情報の発信を充実させていく。
- ③ 子育て支援センターについても引き続き、ニーズや課題を分析し、運営方法や相談体制、講座内容の見直しを行っていく。出生後の伴走型支援の充実に取り組みほか、地域の方にも参加してもらうなど社会全体で子育てを支援する環境づくりに努める。土曜サロンを福光児童館きつずらんどで開催し、家族で利用してもらえるよう取り組んでいく。
- ③ 児童館及び放課後児童クラブについては、新型コロナウイルスとはじめとする感染症の状況を考慮しつつ、引き続き児童の安全安心な居場所の確保・管理運営に努める。児童館について日曜日親子ふれあい開館を10ヶ月試行した結果、一日あたり平均利用者が3.2人だったことから、当面の間、従来どおり月～土曜日の開館とする。
- ③ 「大人も子どもも幸せに暮らせる南砺市」を実現するための指針となる「こどもの権利条例」が令和5年4月に施行したことを踏まえ、条例に基づく「こどもの権利委員会」を設置して、市の現状把握と権利推進に向けた方向性を取りまとめるとともに、行政として取り組むべき具体的な内容と達成すべき具体的な数値目標を掲げたアクションプランの策定に取り組む。
- ④ 国・県の保育料軽減事業等の動向を適確に把握し、市の保育料・副食費の軽減を確実に実施していく。

## ア 計画の体系

基本目標	4 子どもが健やかに育つ環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(3)地域や企業における子どもと家庭への支援		
主な取組	① 小規模多機能自治における子育て支援の充実に向けての支援 ② ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた理解促進と啓発 ③ 企業における子育てと仕事の両立への取組促進		

## イ 主な指標（達成度）【子どもの居場所の充実、子育てと仕事の両立】



内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
地域主体の学童保育実施数(とやまっ子さんさん広場・地区交流センター等)	11カ所	7カ所	8カ所	8カ所	カ所	カ所	72.7%
なんと！やさしい子育て応援企業認定数	50事業所	36事業所	53事業所	62事業所	事業所	事業所	124.0%

## ウ 点検及び評価

評価	コロナ禍であっても地域主体のこどもの居場所（とやまっ子さんさん広場）が着実に運営され、子育て応援企業があらたに9カ所増えており、地域・企業における子ども・子育て家庭への支援が広がっている。
B	<p>① 地域主体で取り組む子どもの居場所づくり（とやまっ子さんさん広場推進事業）について、8カ所に財政支援を行った。また、地域における子育て家庭の孤立防止とこどもの健全育成の取組（子どもの居場所づくり促進事業）も、新たに3団体で取組が始められ、地域における子育て支援体制・環境の充実が図られている。</p> <p>② 市内9事業所が、新たになんと！やさしい子育て応援企業に認定され、累計64事業所となった。ワーク・ライフ・バランスに対する理解促進と普及啓発を図る企業が着実に増加しており、表彰された5事業所の取組を広報等で紹介することにより、子育てと仕事の両立に向けた市民意識の醸成に取り組んだ。</p> <p>③ 子育てと仕事を両立できる環境づくりに取り組む事業所へのアドバイザー派遣事業を市内2事業所で実施し、子育て支援を企業経営と一体的に考える開かれた企業の育成を図った。</p>

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
① とやまっ子さんさん広場推進事業 : 地域の力を活かした子育ての新たな支え合いを推進す	運営補助 8団体 (R3: 8団体) おがやサンサン広場 北野子どもふれあい広場 五箇山子ども広場 利賀子ども広場	6,670 (6,850)

<p>る。</p>	<p>子育て支援寺子クラブ アフタースクールあおむし いのくち放課後クラブ 福野南部なかよし広場</p>	
<p>①子どもの居場所づくり促進事業</p> <p>：地域のつながり強化、子育ての孤立防止、子どもの健全育成等を図る。</p>	<p>運営補助 5 団体（R3：2 団体） 吉江地域づくり協議会 北山田地域づくり協議会 広瀬館地域づくり協議会 西太美地域づくり協議会 福野東部地域づくり協議会</p>	<p>183 (240)</p>
<p>②なんと！やさしい子育て応援企業認定事業</p> <p>③子育て応援環境づくり等アドバイザー派遣事業</p> <p>：ワーク・ライフ・バランスや子育てと仕事の両立に向けた職場環境の取組を推進する。</p>	<p>なんと！やさしい子育て応援企業 新規認定 9 事業所 ※累計 64 事業所 (R3：17 事業所)</p>  <p>子育て応援環境づくり等アドバイザー派遣 派遣実績 2 事業所（R3：1 事業所）</p>	<p>134 (134)</p>
<p>②③なんと！やさしい子育て応援企業表彰事業</p> <p>：ワーク・ライフ・バランスや子育てと仕事の両立に向けた職場環境の取組を推進する。</p>	<p>なんと！やさしい子育て応援企業 表彰企業 5 事業所（R3：5 事業所）</p> 	<p>18 (18)</p>

オ 今後の取組と改善点

- ① とやまっ子さんさん広場推進事業及び子どもの居場所づくり促進事業について、地域づくり協議会を通じて地域に制度を紹介し、新規開設につなげていく。
- ② なんと！やさしい子育て応援企業の認定事業所数は順調に増えている。
- ③ 男性の育児参加、ワーク・ライフ・バランスなど働き方に対する意識が高まってきていることも踏まえ、令和5年度からは企業に対する認定勸奨や表彰を廃止しつつ、商工企業立地課や南砺で暮らしません課などの関係課と連携により、働き方改革のひとつとしての子育て支援の充実を働きかけていく。

## ア 計画の体系

基本目標	4 子どもが健やかに育つ環境の充実	担当課	こども課
基本施策	(4) 配慮が必要な子どもと家庭への支援		
主な取組	① 子どもと家庭への総合的な支援（拠点づくり） ② 児童虐待対策の強化 ③ 児童発達支援の充実 ④ 子どもの貧困対策の推進		

## イ 主な指標（達成度）【児童発達支援の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
障がい児保育研修の開催回数と受講した保育士数	10回 300人	11回 236人	11回 204人	11回 336人	回 人	回 人	110.0% 112.0%
保育園・認定こども園巡回訪問延べ回数と支援児童実人数	60回 400人	48回 259人	53回 209人	44回 172人	回 人	回 人	73.3% 43.0%

## ウ 点検及び評価

評価	障がい児保育研修は、園内での情報共有を図ることで児童発達支援の充実につなげている。子どもや保護者、地域社会の相談窓口としての周知が進み、相談件数は増加した。実情に応じ訪問、面談の実施や各種教室・専門機関につなぐことで継続した支援を行い、不安等の解消を図っている。
B	<p>① 子どもや子育て家庭、地域社会の相談窓口として、子ども家庭総合支援拠点「スマイルなんと」を設置した。こども課や「スマイルなんと」が中心となり、関係機関と連携を図りながら、適切な支援を行える体制づくりに努め、通告や虐待疑いがあった場合は、児童相談所と連携し、早急に対応を行った。</p> <p>② 「南砺市児童虐待防止・対応マニュアル」を用いて、保育園、小中学校などへの配布・説明を継続的に行い、児童虐待に対する啓発普及に努め、対応についての協力体制を構築した。このことにより学校からの相談件数が大きく増加した。</p> <p>③ 発達に気がかりのある児童とその保護者向けの発達相談会や園児対象の集団支援教室などを開催。公認心理師の専門的な指導・助言を受ける機会を設け、「こどものえがおクリニック」への相談・受診につなぐなど、保護者に寄り添い、不安軽減を図る支援を行っている。</p> <p>④ 養育困難、貧困等の多様かつ複合的な問題を抱える家庭等に対し、市社会福祉協議会や税務、住宅、介護、保健、医療、福祉、教育委員会などの関係部署と情報共有を図り、適切な支援につながる体制づくりを推進した。</p> <p>コロナ禍の影響への支援として、ひとり親世帯や低所得世帯への生活支援特別給付金など様々な経済的支援を実施した。</p>

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
①相談支援事業 ：育児や子どもの発達、児童虐待など子育てに関することや、離婚、DVなどの家庭に関する問題や心配事などの相談に応じる。	こども家庭相談室「スマイルなんと」を設置し、各種相談員を配置 相談室の相談件数 延べ1,224件 (R3: 615件)	6,477 (7,037)

<p>②④要保護児童対策地域協議会</p> <p>：児童虐待の早期発見、早期対応のため関係機関との連携強化を図る。</p>	<p>要保護児童の早期発見及び適切な保護や要支援児童・特定妊婦などへの適切な支援を行うため各会議を開催</p> <p>代表者会議 1回(R3：1回) 実務者会議 10回(R3：9回) 個別ケース会議 31回(R3：25回)</p>	<p>142 (158)</p>
<p>③こどもの発達相談会</p> <p>：発達に気がかりのある子どもに対し家庭での育児に困り感や不安を持つ保護者が子どもの発達を学び、育児力の形成につなげる。</p>	<p>相談会の開催 6回（9人参加）（R3：7回、14人参加） 対象：在園児（年中・年長児が主）</p>	<p>99 (120)</p>
<p>③集団支援教室</p> <p>：子どもの発達について同じような悩みを持つ保護者同士が集まり思いを共有し家庭での関わり方を学ぶことで保護者を支援する。</p>	<p>集団支援教室「カンガルーひろば」の開催 9回（71人参加） （R3：8回、52人参加 ※1回中止） 対象：発達に気がかりのある保育園在園中の年長・年中児</p>	<p>155 (168)</p>
<p>③ほめのび教室</p> <p>：保護者の気持ちに寄り添い、不安軽減を図る切れ目のない支援と早期発見・早期療育につなげる。</p>	<p>育てにくい特性をもつ子ども（1歳6カ月～4歳程度）への対応や関わり方を学び、子育ての悩みを共有し、育児ストレスの軽減を図りながら保護者の「子どもの育ちを支える力」を向上させる。 6回（9人参加）（R3：6回、30人参加）</p>	<p>90 (95)</p>
<p>③保育園巡回訪問</p> <p>：発達に気がかりのある園児の園での支援について助言等を行い、関係部署の情報共有を図る。</p>	<p>こども課、教育総務課、保健センターの専門職が全保育園、認定こども園を巡回 〔訪問回数〕 6回：2園、5回：4園、3回：1園、 2回：4園、1回：1園 ※必要時随時対応</p>	<p>予算計上なし</p>

## オ 今後の取組と改善点

- ① 子ども及びその家庭、妊産婦等を対象に実情の把握、様々な相談対応や調査等により、必要なサービスをつなぐソーシャルワークを中心とした機能を担う子ども家庭総合支援拠点「こども家庭相談室 スマイルなんと」を広く周知するため、市報、市HP、なんと Hug、学校、保育園、民生委員・児童委員等を通じた周知啓発を行い、子どもや保護者にカードやチラシを配ることで、相談したい人に届くよう周知徹底に努める。
- ② 児童虐待防止・対応マニュアルを活用し、こどもの権利条例とあわせて普及啓発を図り、虐待の未然防止、早期発見・対応に継続的に取り組む。学校の教員間での理解が進むよう教務主任会等への説明も追加して取り組んでいく。
- ③ 引き続き、発達に気がかりのある子どもと保護者に対して、発達相談会等を通し支援を必要とする児童の早期発見・早期療育につながる体制づくりに努める。南砺市こどものえがおクリニックと連携し、個々の実情にあわせ保育園や学校等へ情報共有を図り、健やかな養育支援につなげる。
- ④ 貧困等の多様かつ複合的な問題を抱える家庭への支援は、要保護児童対策地域協議会の各関係機関との連携や情報共有を図り、スマイルなんとやなんと Hug 等を活用しながら気軽に相談できる体制や必要な支援を受けられる体制を整えるよう努める。

## ア 計画の体系

基本目標	<b>5 魅力ある文化芸術活動の振興</b>	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(1) 文化芸術創造プランの推進		
主な取組	① 南砺市文化芸術振興実施計画 ② TOGA 国際芸術村構想 ③ スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド ④ 南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ		

## イ 主な指標（達成度）【文化芸術活動の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
積極的に文化活動を行っている市民の割合（南砺市市民意識調査）	17.0%	17.5%	18.4%	16.7%	%	%	98.2%

## ウ 点検及び評価


評価	令和4年度は利賀の演劇、スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドともにほぼ通常規模での開催となり、多くの市民や子どもたちがワークショップやイベントに参加し、南砺市の文化芸術に触れることができた。
<b>B</b>	<p>① 「第2次南砺市文化芸術振興実施計画」に基づき、福光麻布・福野縞の保存継承活動団体による意見交換会や活動展示・ワークショップイベントを開催した。また、「第2回獅子舞共演会」の次年度開催へ向け、獅子舞団体交流会を行い市内の獅子舞団体の状況把握や情報共有を行ったほか、市内獅子舞団体関係者を中心とした獅子舞部会を組織し、事業内容の検討を行った。</p> <p>② 利賀舞台演劇事業は、サマー・シーズン（8、9月）のほか、第10回シアター・オリムピックス in ブダペストで上演する「トロイアの女」の特別公演（3月）などが行われ、国内外から約4,700人（R3：約2,500人）が利賀を訪れた。中でもサマー・シーズンは、日本初の国際演劇祭「利賀フェスティバル」が始まって40周年を記念した特別プログラムとして、3週にわたって実施した。利賀鈴木演劇塾（市事業）には、17か国から若手演劇人30人が参加し、スズキ・トレーニング・メソッドを学んだほか、劇団SCOTの稽古見学や観劇を通して、多角的に演劇の在り方を考える機会とした。SCOT主宰の鈴木忠志氏によるトーク（市事業）では、鈴木氏が利賀の歩みと未来を語り、来場者の質問にも答えた。来場者にとって、演劇の歴史と今後の展望について考えるきっかけとなった。</p> <p>③ スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドは、期間を短縮していた本会期をコロナ禍前の3日間に戻して開催し、会場では延べ8,150人がワールドミュージックの魅力に浸</p>

った。令和 3 年度に引き続き配信プログラムも行い、会場外でも多くの人がスキヤキを楽しんだ。事前、事後会期中のワークショップでは、市民や地元の子どもたちが世界の音楽や文化に触れた。

- ④ 4年に1度開催される南砺市いなみ国際木彫刻キャンプで制作された作品は市内各施設や公園内等に設置され、市民が芸術に親しむ空間を生み出している。屋外に展示されており、経年劣化が著しい過去の木彫刻作品について、破損個所の修繕や防腐剤塗布などの維持管理業務を行っている。

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>①「南砺市文化芸術振興実施計画」推進事業</p> <p>：「南砺市文化芸術振興基本計画」に基づき、南砺市の文化芸術の充実・発展、伝統文化の継承を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画推進にかかる会議の開催 【推進ワーキンググループ】20名 全体会 11回、獅子舞部会 4回、 交流会 3回 開催</li> </ul>   <ul style="list-style-type: none"> <li>・南砺市文化芸術アーカイブズホームページの管理・運営 外部団体記事掲載数 31件/年 (R3: 57件/年) アクセス数 39,626件/年 (R3: 35,575件/年)</li> </ul>	<p>1,694 (2,090)</p>
<p>②利賀舞台芸術事業</p> <p>：世界的な演劇の聖地としてアジアの拠点となっている利賀において、官民一体となった取り組みを実現し、舞台芸術環境の向上を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利賀鈴木演劇塾インターナショナル・クラス（市事業） 場所：富山県利賀芸術公園内 開催期間：8月15日～8月25日 受講者：30名（17か国から参加）</li> <li>・SCOTサマー・シーズン (利賀フェスティバル 40周年記念プログ</li> </ul>	<p>16,000 (16,000)</p>

<p>す。</p>	<p>ラムとして開催)  場所：利賀芸術公園・利賀大山房  開催期間：8月26日～9月11日  入場者数：4,367人 (R3：1,521人)  内容：演劇19公演(県事業)  鈴木忠志トーク3回(市事業)</p> 	
<p>③「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド2022」の開催事業補助金</p> <p>：異文化交流を通じた新たな音楽文化を創造する市民参加型フェスティバルとして全国に向けて発信し、文化芸術を活かしたまちの活性化を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド開催事業  <b>【本会期】</b>  場所：福野文化創造センター  開催期間：8月26日～28日  入場者数：ステージ8,150人  (R3：650人)  配信視聴回数13,460人  (R3：11,078人)</li> <li>・ワールドミュージック事業  <b>【市民音楽団体育成事業】</b>  ・プロアーティストによる指導  (市民音楽団体に対してワークショップや曲づくりの指導を行った。)  場所：福野文化創造センター  開催期間：8月1日～28日  参加者数：延べ421人 (R3：294人)</li> <li>・アウトリーチ事業  (「世界の音楽体験2022」として、市内の学校にプロアーティストが出向き、子どもたちに世界の音楽に触れる機会</li> </ul>	<p>17,676 (17,676)</p>



	<p>を提供した。)</p> <p>場所：市内小学校 5 校</p> <p>開催期間：8 月 1 日～11 月 1 日</p> <p>参加者数：延べ 375 人</p> 	
<p>④いなみ木彫刻キャンプ作品 管理業務</p> <p>：4 年毎に開催される「南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ」で作成された後、市内各公共施設等で展示されている作品の維持管理を行う。</p>	<p>・修繕工事等</p> <p>過去 8 回の木彫刻キャンプで制作された作品の破損箇所の修繕および劣化した作品の撤去工事</p> 	<p>216 (271)</p>

## オ 今後の取組と改善点

- ① 「第 2 次南砺市文化振興実施計画」に則り事業を行う。今年度交流会を行った福光麻布・福野縞の保存団体について、次世代の担い手を発掘するため、市内小中学生を対象としたアウトリーチ事業を行う。また、第 2 回の獅子舞共演会実施や南砺市文化芸術アーカイブズの活用について引き続き企画協議を行っていく。
- ②③④ 南砺市の魅力を世界に発信する利賀舞台芸術・スキヤキ等の活動が、住民と一体となって「文化芸術創造都市」としてより一層発展するよう支援していく。また、令和 5 年度開催の「南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ 2023」では、木彫刻のまち井波をアピールするとともに、市民が世界の人々と交流する機会となるよう取り組む。

## ア 計画の体系

基本目標	5 魅力ある文化芸術活動の振興	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(2) 文化芸術活動への支援		
主な取組	① 美術活動の推進 ② 各地域の文化協会や団体支援		



## イ 主な指標（達成度）【芸術活動】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標 値
市美術展出品者数 (延べ人数)	400人	269人	294人	260人	人	人	65.0%
「アートで遊ぼう」参加者数	80人	39人	62人	110人	人	人	137.5%

## ウ 点検及び評価

評価	市展出品数・・・R3 年度以降はコロナ禍による制作時間の減少影響も少ないと考えられる。一方、若年層の出品が伸びておらず指標の令和6年度に達成すべき目標値に達していないため。
<b>B</b>	「アートで遊ぼう」参加者数・・・R4 年度は開催形式を大幅に変更し(日数および定員の倍増)、受入数を増やすことができたため、指標の目標値を大きく上回ることができた。
①	南砺市美術展（市展）は、出品者数の拡大のため平成30年度から南砺市にゆかりのある人からの応募受入および物故者遺作を募集している。また、市外の高校に個別案内し南砺市在住者の出品を呼びかけている。新型コロナウイルス拡大による影響（作品制作時間の減少）は小さくなったが、高校生や若年層の出品が伸び悩んでいる。 「アートで遊ぼう」事業は、毎年募集定員を大きく上回る応募があるが、活動場所の広さ等により参加人数が制限されていた。R4 年度は開催日数の変更（1日→2日）、美術館全体を制作会場としたコース定員の増等により、募集定員を100名以上に拡大することができた。
②	令和5年度からの補助金ガイドライン本格稼働に向け、補助金交付要綱の制定を行った。また、各地域文化協会の統合に向けた協議に参加し、組織運営や体制づくりに関する助言、先進地の事例などの情報提供等を行った。

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>① 「第18回南砺市美術展」の開催</p> <p>: 文化芸術活動を担う人材の育成のため、発表の場を提供し、地域文化活動の活性化を図る。</p>	<p>開催期間：11月12日～11月27日</p> <p>入場者数：3,428人 (R3：2,996人)</p> <p>作品出品数</p> <p>招待出品 92点</p> <p>委嘱出品 26点</p> <p>一般出品 142点</p> <p>(うち高校生16点)</p> <p>計 260点 (R3：294点)</p> 	<p>2,010 (2,186)</p>
<p>① アートで遊ぼう事業 「アートで遊ぼう in なんと」の開催</p> <p>「なんと和紙ものがたり」の開催</p> <p>: 時代を担う子どもたちが、文化芸術に親しむ機会を提供し、美術創作活動に関心を持つきっかけとなることを目的とする。</p>	<p>「アートで遊ぼう in なんと」</p> <p>開催期間：8月5日、6日</p> <p>ワークショップ参加者数110人 (R3：62人)</p> <p>【参加者内訳】</p> <p>(コース別)</p> <p>ランプシェード 9人</p> <p>わくわくかぼちゃ 12人</p> <p>ちぎり絵 27人</p> <p>キーホルダー 27人</p> <p>和紙の染色 22人</p> <p>まん丸アート 13人</p> <p>計 110人</p> <p>(学年別) 1年生 19人 2年生 24人</p> <p>3年生 25人 4年生 16人</p> <p>5年生 13人 6年生 13人</p> <p>計 110人</p> <p>「なんと和紙ものがたり」</p> <p>開催期間：6月12日～1月8日 全6回</p> <p>ワークショップ参加者数9人 (R4 新規)</p> 	<p>280 (265)</p>

## オ 今後の取組と改善点

- ① 市展においては今後も南砺市美術連合会と連携し開催する。若年層が関心を持つようにSNSの活用等ホームページで情報発信を行うなど、アプローチの仕方を変えて事業に取り組む。また市内企業へ印刷物（ポスター、チラシ）掲示を依頼し、出品者の新規開拓に取り組む。また「アートで遊ぼう」事業では、五箇山和紙を使い地域の伝統工芸に触れる機会を作りながら、子ども達に創作の楽しさを教える「なんと和紙ものがたり」を今後も開催する。「アートで遊ぼう in なんと」では多くの参加希望を受

け入れるために、開催日数の変更およびコース定員の増等により募集定員の拡大を継続する。

- ② 統合後の文化協会に対し、持続可能な組織として活動していけるよう、組織運営や体制づくりに関する助言、先進地の情報提供等の支援を継続するほか、文化芸術振興に関わる事業を積極的に提案していきたい。

## ア 計画の体系

基本目標	5 魅力ある文化芸術活動の振興	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(3) 文化ホール・美術館等の事業の充実		
主な取組	① 美術館での鑑賞の機会 ② 文化芸術活動の推進		

## イ 主な指標（達成度）【事業の充実】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
美術館入館者数	21,500 人	11,949 人	20,329 人	14,476 人	人	人	67.3%

### 【参考】


内容（指標）	R2	R3	R4	R5	R6
文化ホール3館利用者数	58,045 人	72,109 人	93,861		

※主要施策報告書より

## ウ 点検及び評価

評価	新型コロナウイルス感染症による外出控えの影響が少なくなり、また魅力的な企画展の開催により、指標の令和6年度に達成すべき目標値に近い数値を達成した。
A	<p>① 福光美術館では、「野を生きた書人 宮崎重美展」、「愛染苑、40年。～志功と俊彦の物語～」、「福光美術館 驚きの収蔵品展」「空する、時する 横山丈樹展」ほか全7企画展を開催した。常設展示室は4回の展示替え、コレクション室は8回の企画展示を行うなど魅力アップに心掛けた。また、毎年1回、市内小学生児童（5～6年生）を対象に美術館へ招待し美術鑑賞の機会を設けている。コロナ禍の影響が残る他、企画展の内容にもよるが前年比71%と来場者が減少した。また、令和2年度から棟方志功研究家で同氏の孫でもある石井頼子氏の協力を得ながら、令和5年度の棟方志功生誕120年に向けて同氏からの寄贈の資料調査を開始（令和2年度～6年度）するなど、新規事業にも引き続き取り組んでいる。</p> <p>② 令和4年度から3館の文化ホール（井波総合文化センター・福野文化創造センター・城端伝統文化会館）の指定管理者が1本化されたことで、3館連携の強みを活かした事業が行われ前年比130%と利用者数が増加した。市内団体が出演する庵唄・むぎやの定期公演や著名人による多彩なジャンルの公演、コンサート等を実施し、幅広い世代に向けて文化芸術に触れる機会を提供した。また、ワークショップなどの体験型・参加型事業を多く取り入れ、地域の文化活動の推進と地域に愛される施設を目指し進めていく。</p>

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
①福光美術館常設展展示  ：世界的版画家「棟方志功」と福光出身の日本画家「石崎光瑠」の作品展示	観覧者数 7,152 人 (R3 : 9,720 人) 展示替え年 4 回 	4,213 (5,010)
①福光美術館企画展の開催  ：地域ゆかりの作家から、世界的な作家まで、来館者に美術の魅力と鑑賞の機会を提供するための企画展。	観覧者数 9,715 人 (R3 : 16,962 人) 企画展内訳：宮崎重美展、愛染苑 40 年展、驚きの収蔵品展、横山丈樹展、南砺市美術展、なんと版画年賀状公募展、川合宣之展 	20,225 (24,182)
①棟方志功記念館管理運営  ：福光美術館の分館として、「棟方志功」の当時の暮らしぶりを今に伝える施設。	入館者数 3,371 人 (R3 : 2,498 人) 企画展内訳：詩歌頌展、愛染頌展、四季頌展、他力頌展、此道頌展	8,956 (9,141)
①棟方志功資料調査事業  ：棟方志功研究家で同氏の孫でもある石井頼子氏からの寄贈された棟方志功の遺品の整理・調査。	【棟方志功関係資料の調査】 令和 5 年度の棟方志功生誕 120 年での公開に向け、未整理の棟方志功関係資料について、令和 6 年度までに調査・整理・データ化を行い、その後寄贈を受ける予定。	5,557 (5,555)

## オ 今後の取組と改善点

- ① 福光美術館は棟方志功、石崎光瑠、南砺市ゆかりの作家の作品を収集し展示しており、市展、版画年賀状展など回を重ねる展覧会も行っている。近隣美術館や作家関連の美術館と連携し、若年層を呼び込む企画展、マンネリ化しない工夫を凝らした企画展を展開していくとともに、広報にも重点を置き、入館者数の増加に取り組む。棟方志功関係資料調査については、貴重かつ重要なものであり、展示の幅を広げることが期待されるものであることから、調査の加速化を進める。
- ② 各文化ホールの会館事業については、各文化ホールと意見交換の場を設けるなど事業の充実を図り、複数の課と連携しながら協働体制を高め、より一層、設置目的や市民ニーズに対応した事業の実施に努める。

## ア 計画の体系

基本目標	6 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(1) 世界遺産マスタープランの推進		
主な取組	① 世界遺産の保存 ② コガヤ自給率の向上		

## イ 主な指標（達成度）【茅の自給率向上】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
コガヤ年間生産量	15,000 束	12,000 束	12,620 束	13,080 束	束	束	87.2%

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
世界遺産サポーター（保全事業ボランティア参加数）	150 人	100 人	100 人	100 人	人	人	66.6%

## ウ 点検及び評価

評価	合掌家屋の保存修理をはじめとした国史跡の保護、五箇山全体の景観維持を円滑に進めている。またコガヤ増産への取組も計画通り進行している。
<b>B</b>	
<p>① 世界遺産の合掌造り集落（国史跡かつ重伝建）において、合掌造り家屋の葺替えや集落内家屋の修景など保存整備事業を計画的に実施している。</p> <p>① 令和2年3月に国史跡にかかる「保存活用計画」を新たに策定（計画期間10年）しており、本計画に基づき史跡の保存、活用、整備、運営にかかる諸施策を実施していくこととなる。また平成28年策定の「五箇山景観計画」に基づく届出制度などにより、建築行為等における景観への配慮など少しずつ効果が現れている。</p> <p>② コガヤの自給率の向上を図るため南砺市茅場の造成事業補助金により、平成28年度からタカンボースキー場のゲレンデにおける茅場造成事業に対し支援を行っている。菅沼集落及び遊部自治会がそれぞれ取り組む茅場造成事業に対しても補助金交付による支援を行っており、今後も継続した事業支援により令和6年度には15,000束の収穫量まで達成できると見込みとなっており、全体的にも順調に推移している。</p>	

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>①歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業</p> <p>：国・県の補助を活用し、相倉・菅沼集の保存と活用のために資する整備を行う。</p>	<p>国指定史跡相倉・菅沼集落にある建造物等の修理・整備を行い、歴史的景観の保全を図るとともに、修理現場の公開など市民が歴史や伝統文化に親しむ場として活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相倉集落（R3：3棟） 茅葺替えほか3棟</li> <li>・菅沼集落（R3：1棟） 茅葺替えほか2棟</li> </ul> 	<p>45,524 (46,194)</p>
<p>①指定文化財管理事業</p> <p>：国・県の補助金を活用し、国指定文化財の保護に必要な修繕などの経費に対して補助を行う。</p>	<p>国指定文化財の所有者が行う管理上特に必要のある措置（棟直し、消防設備点検等）に要する経費に対して補助を行う（R3：同様）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文化財4棟 岩瀬家、村上家 羽馬家、白山宮本殿</li> <li>・史跡相倉・菅沼集落</li> </ul> 	<p>18,306 (18,525)</p>
<p>①電源立地地域対策交付金事業</p> <p>：電源立地地域住民の環境整備及び施設整備を行う。</p>	<p>市有合掌造り家屋の屋根葺替えや、相倉・菅沼両集落に関する利便施設等の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・葺替え工事 2棟 合掌の里小林家、おさよ (R3：葺替え工事 1棟 合掌の里松与門家)</li> </ul> 	<p>21,087 (21,428)</p>
<p>①南砺市茅場造成事業</p> <p>：コガヤの自給率向上を目的に茅場の造成事業者等に対して補助を行う。</p>	<p>コガヤの自給率向上を目的に、タカンボースキー場のゲレンデを活用し茅場の造成に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・造成面積 500㎡ (R3：500㎡)</li> </ul> 	<p>1,351 (1,351)</p>

## オ 今後の取組と改善点

- ① 相倉・菅沼は、令和2年3月策定の史跡保存活用計画に基づき、住民生活との調和を図りながら合掌造り家屋や茅場などの保存に引き続き取り組むとともに、史跡の価値を広く伝える活用の視点を積極的に取り込み観光資源としての魅力を高めることで多様な構成要素の持続可能な保存につなげていく。また、世界遺産の緩衝地帯である平地域・上平地域では、五箇山景観計画に基づく届出制度の周知に努めるとともに、同計画が規定する「眺望点」「五箇山景観資産」の指定を通して、当該地域の景観づくりを推進する。
- ① 令和3年度に「茅採取」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことから、今後国・県からの支援も含め積極的な情報収集に努め小茅の増産・自給率向上を図っていきたい。



## ア 計画の体系

基本目標	6 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(2) 文化財展示・収蔵施設の機能充実		
主な取組	① 企画展、シンポジウム等の実施 ② 小中学校への周知活動		

## イ 主な指標（達成度）【文化財等の展示を見学に訪れた人数】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
埋蔵文化財センター入館者数	2,000人	832人	932人	888人	人	人	44.4%
城端曳山会館入館者数	12,000人	3,402人	3,504人	7,606人	人	人	63.4%

## ウ 点検及び評価

評価	コロナ禍の規制が徐々に緩和されたことから個人の入館者数は増加傾向にある。
C	地域の歴史文化の周知活動を継続し、子供達の受け入れを積極的に行っていきたい。
<p>① 城端曳山会館においては、縮小開催ではあるが3年ぶりに「城端曳山祭り」が開催された。そのため入館者数が大幅に増加した。</p> <p>埋蔵文化財センターにおいても3年ぶりに、国史指定50周年の記念式典も加えて6月11日～19日の間「高瀬遺跡菖蒲まつり」を行った。そのため公園の入園者は増加したが、入館者数は微増に留まった。公園の入園者に入館してもらえる取組みを行いたい。</p> <p>② 城端曳山会館ではコロナ禍の中ではあったが、ふるさと教育の一環としての子供達を積極的に受け入れた。小・中学生等約150名が来館し、地域の歴史文化を学んだ。</p> <p>埋蔵文化財センターでは、体験教室を開催した。高瀬遺跡菖蒲まつりでの教室開催や、市内小中学校の校外学習受け入れ等を行った。昨年度と比較して、コロナ対策を理由に10月の校外学習が中止となったため(約120名減)その分入館者数が減少した。より積極的に子供たちの受け入れを行っていきたい。</p> <p>全体的な評価としては伝統文化の継承につながる周知活動にはまだまだ改善の余地があると考えている。</p>	

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
① 曳山の工芸美術作品展示  : 城端曳山の魅力発信を行う。	曳山会館蔵回廊で、工芸美術品である曳山の見返し作品などの展示を行った。 展示場所：城端曳山会館 土蔵群「蔵回廊」 	予算計上 なし
① 高瀬遺跡指定50周年記念行事  : 国指定文化財（史跡）に指定されてから50周年を記念して高瀬遺跡の魅力発信を行う。	式典（6月18日）、講演会：「砺波平野の考古学と地球科学の境界領域の謎」（2月25日）、植樹（3月17日）、記念誌の発行といった行事を行った。  	170 (173)
② 小中学校への周知活動  : 城端曳山会館見学 : 埋蔵文化財センター歴史体験	城端曳山会館では小・中学生が曳山本体や庵屋台を見学し、地域に伝わる祭礼行事に触れた。埋蔵文化財センターでは、火起こし、勾玉づくりなどの歴史体験を行った。  	予算計上 なし

## オ 今後の取組と改善点

① ユネスコ無形文化遺産に登録以降、注目度が高まる「城端神明宮祭の曳山行事」について、遺産の価値を高めるためにも、保存・継承に努めながら活用に努める。 ② 埋蔵文化財センターは、小中学生にもわかりやすい展示、体験教室の充実を継続して図る。ふるさと学習や歴史体験の拠点施設としても活用し、小中学生や市民に地域の歴史に理解を深めてもらい、郷土愛を醸成させる。
--

## ア 計画の体系

基本目標	6 文化財の保存・活用と伝統文化の継承	担当課	文化・世界遺産課
基本施策	(3) 文化・歴史遺産の保存と活用		
主な取組	① 文化財の保存と活用 ② 伝統芸能保存団体の育成		

## イ 主な指標（達成度）【国登録制度の文化財建造物の保存】

内容（指標）	目標値 (令和6年度)	R2	R3	R4	R5	R6	達成度 実績/目標値
登録有形文化財件数	25件	20件	24件	24件	件	件	96.0%

## ウ 点検及び評価

評価	目標値は達成にむけて順調に推移しているが、保護活用が必要とされる建造物の実態調査、埋蔵文化財調査における事業原因者との調整、伝統芸能後継者育成支援等、さらに改善等の取組を要する。
C	<p>① 令和4年度は「山田家住宅洋館」「山田家住宅蔵」「山田家住宅倉庫（旧詩百篇酒造場倉）」「山田家住宅門及び塀」（福野地域）の4件が国登録有形文化財の大臣答申を受け保護につながられた。また埋蔵文化財調査は、県営ほ場整備事業に伴い令和3年度に引き続いて、松木地内で本調査、館・遊部地内で試掘調査を実施し、事業の円滑化及び埋蔵文化財の保護に努めることが出来た。</p> <p>① コロナ禍により城端曳山祭は縮小開催となったが、城端曳山祭の保存継承のため、外部講師を招き庵唄や囃子方の技能研鑽については、感染防止に配慮しながら例年どおり実施することが出来た。</p> <p>① 福野夜高曳山行事の総合調査を実施した。福野夜高祭の国の指定に向けて総合的に行事内容を詳細に調査し、調査報告書を刊行する。令和4年度の事業は夜高曳山の準備作業、祭当日の流れ、祭りに関わる町内の方の聞き取りを行った。</p> <p>② 令和4年度の事業は、観光ボランティア養成事業として高岡市御車山会館を会場に、南砺市、魚津市、高岡市の観光ボランティアが会し、祭礼に関する講座、曳山修理状況の視察等の研修会を開催した。また、記録保存事業として、城端曳山祭における各曳山の組立・解体手順等に係る技術的ノウハウや従事者の状況を映像で記録したDVDを制作したほか、併せて史料や口伝等で伝わる組立・解体技術の聞き書き調査を実施した。</p>

## エ 主な事業

事業名・目的	事業内容	事業費千円 (予算額)
<p>①国登録文化財制度の活用</p> <p>：国登録文化財の登録を促すことにより、文化財の保存と活用の意識向上につなげる。</p>	<p>吉田鉄郎設計の「山田家住宅洋館」ほか「山田家住宅蔵」「山田家住宅倉庫（旧詩百篇酒造壘倉）」「山田家住宅門及び塀」の4件が国登録有形文化財の大臣答申を受けた。</p> <p>（R3：城端蔵回廊3件）</p> 	<p>予算計上なし</p>
<p>①埋蔵文化財調査</p> <p>：ほ場整備を進めるにあたり埋蔵文化財の保護を目的とした調査を行っている。</p>	<p>石黒東部地区松木地内本調査および館・遊部地区試掘調査</p> <p>（ともに県営ほ場整備事業関連）</p> 	<p>55,326 (86,149)</p>
<p>①福野夜高曳山行事総合調査事業</p> <p>：福野夜高曳山行事を詳細に調査し、行事の価値を再確認する。</p>	<p>福野夜高曳山行事総合調査 現地調査、調査委員会の開催</p> 	<p>2,401 (3,000)</p>
<p>②城端曳山祭保存活動支援</p> <p>：城端曳山祭における文化財の保存と活用・伝統芸能保存団体を育成する。</p>	<p>城端曳山祭保存会活動補助金</p> 	<p>517 (517)</p>

<p>②とやまのユネスコ無形文化遺産普及啓発事業</p> <p>：富山県のユネスコ無形文化遺産に登録された3つの祭礼の普及啓発事業を実施し富山への誇りや愛着の醸成と魅力あるまちづくりの推進を図る。</p>	<p>・城端曳山祭における記録保存映像の製作 (記録映像 20分)</p> 	<p>103 (200)</p>
--	--	----------------------

#### オ 今後の取組と改善点

<p>① 国登録候補の建造物について引き続き調査を進め、今後は年1件程度（民間希望を優先）のペースで登録申請を行う。登録を受けた建造物はできるだけ活用を図りながら保存に努める。</p> <p>① 市内各地区において県営ほ場整備事業の実施採択が予定されており、対象地区内の埋蔵文化財調査が増加傾向にあることから、地区住民、事業原因者との連携、情報共有を密にし、事業の円滑化及び埋蔵文化財保護の両立を図る。</p> <p>① 指定の有無に関わらず、文化財の現状把握、適切な保存を計画的に実施していく。さらに民具等の調査を計画的に実施する。</p> <p>② 文化財の保存団体に対し、後継者不足等の存続にかかる問題点を聞き取りし、打開策、支援策を講じていく。</p>
--

令和5年度（令和4年度事業）  
教育委員会事務の点検・評価報告書

南砺市教育委員会  
〒939-1692 南砺市荒木1550番地  
TEL：0763-23-2012 FAX：0763-52-6350